

平成24年度

宇和島市男女共同参画基本計画進捗状況調査結果

各課の具体的施策一覧は「概要」をご参照ください。
重複施策については、帳票を省略しています。

男女共同参画関連施策表

基本目標Ⅰ 男女がともに認め合う人づくり

推進方策1 広報・啓発の推進・・・1ページ

- ①男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
- ②男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進

推進方策2 男女共同参画に関する教育・学習の推進・・・7ページ

- ①家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
- ②教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
- ③地域における男女平等に関する学習の推進

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進・・・25ページ

- ①市職員の能力開発・登用等の推進
- ②各種審議会等における女性の参画促進
- ③企業・地域団体等における女性の参画促進
- ④地域社会への男女の参画促進
- ⑤市政への関心の高揚

推進方策2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保・・・51ページ

- ①企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
- ②母性健康管理対策の推進
- ③市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進

推進方策3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立・・・64ページ

- ①農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
- ②再就職や起業活動などへのチャレンジ支援

推進方策4 国際交流・協力の推進・・・81ページ

- ①国際交流の充実および国際感覚の向上

基本目標Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり

推進方策1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援・・・84ページ

- ①働き方の見直しの促進
- ②家庭生活における男女共同参画の推進

推進方策2 育児期・介護期における環境の整備・・・92ページ

- ①子育て支援の充実
- ②介護支援の充実

基本目標Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり

推進方策1 あらゆる暴力の根絶・・・124ページ

- ①あらゆる暴力の防止
- ②相談体制の充実と被害者保護の推進

推進方策2 生涯を通じた健康支援・・・134ページ

- ①市民の健康づくり支援
- ②教育・相談の充実
- ③保健・医療体制の整備

推進方策3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備・・・166ページ

- ①社会参画の推進
- ②介護予防事業の充実

基本目標Ⅰ 男女がともに認め合うひとづくり

推進方策1 広報・啓発の推進

1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	男女共同参画セミナーの開催	男女共同参画啓発及び人材育成セミナー	企画情報課	事業なし			1
		生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	0講座/年	1講座/年	1講座/年	
2	あらゆる機会における広報・啓発活動の充実	男女共同参画広報啓発事業	企画情報課				2
		「議会だより」への掲載	議会事務局				3

2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	情報の収集・発信の充実	農山漁村におけるパートナーシップに関する指標調査	農林課				4
			水産課				5
2	メディアにおける男女共同参画の推進	広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課	1人/3人	1人/4人	1人/3人	6

推進方策2 男女共同参画に関する教育・学習の推進

1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		3人	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	家庭教育に関する学習機会の提供	生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	93%	7
		家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	30館	30館	29館	8
		校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	2回	5回	5回	9

2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	学校等における男女平等教育・啓発の推進	就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課	100%	100%	100%	10
			教育総務課	100%	100%	100%	11
		豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	97%	100%	97%	12
		教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課				13
2	多様な選択を可能にする教育の充実	特別支援教育推進事業	教育総務課			%	14
			学校教育課				15
		進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	85%	16
3	学校等の運営における男女共同参画の推進	幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	87.5%	17
		開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	88%	100%	90%	18
4	教育関係者への研修の推進	教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	84%	19

3. 地域における男女平等に関する学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	地域や事業所における男女共同参画の推進	男女共同参画出前講座	企画情報課	0回	5回	4回	20
		自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	34回	15回	41回	21
2	多様な学習機会の提供	生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課	0講座/年	1講座/年	1講座/年	1
		市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,400人	1,000人	1,020人	22
3	学習活動への参加促進	学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課				23
4	メディア・リテラシーの向上	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		ICTメディア・リテラシーの推進	企画情報課	事業なし			24
		生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	87%	

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進

1. 市職員の能力開発・登用等の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
		女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	4.7%	3.5%	5.1%	25
		市職員のスキルアップ研修への参画促進	総務課				26
		計画的な人事異動の実施	総務課				27

2. 各種審議会等における女性の参画促進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	各種審議会における女性の参画促進	審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	18.2%	35%	18.0%	28
		選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	31.3%	35%	31.4%	29
2	人材育成の充実	男女共同参画社会づくり活動補助金交付事業	企画情報課				30

3. 企業・地域団体等における女性の参画促進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	事業者等への女性登用の働きかけ	農業協同組合等団体への女性登用の協力要請	農林課				31
		商工会議所、商工会等への要請	商工観光課				32
2	地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進	地域審議会への女性の参画促進	企画情報課	33%	25%	28%	33
		国民保護協議会及び防災会議における女性委員の登用	危機管理課				34
		廃棄物減量等推進員への女性の参画促進	生活環境課	17%	30%	17%	35
		宇和島市美化運動推進委員会への女性の参画促進	生活環境課	13%	25%	13%	36
		まちづくり女性会議の設立	商工観光課				37

4. 地域社会への男女の参画促進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	地域社会での男女共同参画意識の啓発	意識啓発促進事業(啓発紙作成事業)	生涯学習課	-	3,000枚	-	38
2	男性の地域活動への参画促進	男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	2館	5館	3館	39
3	コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供	自治会単位での自主防災組織の育成	危機管理課	410組織	430組織	413組織	40
		花いっぱい運動	生活環境課				41
		福祉ボランティア育成事業	福祉課	事業なし			
		社会福祉団体活動推進事業	福祉課	事業なし			
		まちづくりの主体となる組織・リーダー育成事業	商工観光課				42
		観光ボランティア育成事業	商工観光課	事業なし			
		青少年活動振興事業	生涯学習課	12,464人	10,500人	16,304人	43
4	コミュニティ施設の整備・充実	インターネットによる施設予約の推進	企画情報課				44
		市役所本庁・支所における空きスペースの有効活用	財政課				45
		交流拠点施設の女性の運営参画	商工観光課	9人	20人	9人	46
5	自主防災組織の育成	自治会単位での自主防災組織の育成 (同一関連事業あり・調書省略)	危機管理課	410組織	430組織	413組織	40

5. 市政への関心の高揚

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	市民と行政との情報・意識の共有化	ホームページへのアクセス件数	総務課	1,159件/日	3,000件/日	1,088件/日	47
2	多様な分野における市民及び民間の参画・協働の促進	パブリックコメントを求めた件数	総務課	4件/年	5件/年	4件/年	48
3	ホームページを利用した議会情報の発信	議会インターネットライブ中継	議会事務局				49
4	議会への関心の高揚	議場を活用したイベント等の開催	議会事務局	0回/年	1回/年	0回/年	50

推進方策2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保

1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	就業環境の整備	担い手アクションサポート事業(家族経営協定締結支援・認定農業者制度)	農林課				51
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発	商工観光課				52
		院内保育所の運営	病院局 (宇和島病院)				53
2	雇用機会の確保と雇用の促進	チャレンジ支援事業	企画情報課	事業なし			
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		シルバー人材センター充実支援	高齢者福祉課				54
		商店街におけるコミュニティ・ビジネス事業	商工観光課	事業なし			
		地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催)	商工観光課				55
3	男女雇用機会均等法等について事業所への啓発	団体を通じ、農林業従事者への啓発	農林課				56
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
		団体を通じ、水産従事者への啓発	水産課				57
4	男女雇用機会均等法等について市民への啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
5	企業等における男女平等教育・啓発の推進	男女共同参画出前講座 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課	0回	5回	4回	20
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
6	労働に関する相談や苦情への対応	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
7	セクシュアル・ハラスメントの防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
8	セクシュアル・ハラスメントの相談対応	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
9	男女どちらかの性の進出が遅れている分野への参画促進	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		チャレンジ支援事業	企画情報課	事業なし			
10	市の契約手法の検討	入札(見積)参加資格業者登録への反映の検討	財政課				58

2. 母性健康管理対策の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	女性就労者の健康管理の啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		担い手アクションサポート事業(家族経営協定締結支援) (同一関連事業あり・調書省略)	農林課				51
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52

3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	市職員への啓発						
2	働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止	市職員のセクハラ被害相談への対応のマニュアル化	総務課				59
		セクハラ相談窓口設置	総務課				60
		選挙時の開票作業における女性参画促進	選挙管理委員会	8.4%	10%	3.4%	61
		病院局における各施設へのセクハラ相談窓口	病院局	6箇所	6箇所	6箇所	62
		市立宇和島病院の改築に伴う就労環境の整備	病院局				63

推進方策3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立

1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	農林水産業、商工業など自営業における男女共同参画の推進	家族経営協定締結の支援	農林課	88戸	100戸	89戸	64
2	農業委員会等への参画支援	農業委員への女性の参画促進	農業委員会	3人	2人	3人(H24改選なし)	65
3	家族経営協定の推進	家族経営協定締結の支援 (同一関連事業あり・調書省略)	農林課				64
		家族経営協定締結の支援	農業委員会	-	100戸	-	66

4	経営能力向上のための支援	高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業)	企画情報課	100%	100%	100%	67
		担い手アクションサポート事業(スキルアップ活動・経営相談・指導相談)	農林課				68
		担い手アクションサポート事業(担い手支援ワンストップ窓口設置)	農林課				69
		農業構造改革対策事業(特産物の開発)	農林課				70
		宇和島市生活研究協議会の活動支援	農林課				71
		宇和島地域ブランド化事業	商工観光課				72
		有用貝類・海藻類試験研究事業(特産品の開発)	水産課				73
		農林漁業振興事業資金利子補給事業(経営体制の強化)	水産課				74
5	快適に働くための条件整備	家族経営協定締結の支援 (同一関連事業あり・調書省略)	農林課				64
6	都市と交流・共生する農山漁村づくり	うわじま虹色ツーリズム事業(体験型観光の展開)	農林課	事業なし			
		学校給食における地元水産物の使用食数の拡大(魚食普及及び食育推進事業)	水産課	調査未実施	100,000食	調査未実施	75
		元気な漁村づくり推進事業	水産課	事業なし			
		シーカヤックによる交流人口拡大を目指す。	商工観光課				76

2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	起業活動の支援	チャレンジ支援事業	企画情報課	事業なし			
		アグリビジネス講座(グリーンツーリズム体験・パソコン講座・お菓子作り講座等)	農林課				77
2	女性の職業能力開発のための支援	チャレンジ支援事業	企画情報課	事業なし			
		担い手アクションサポート事業(スキルアップ活動)	農林課				78
		地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				55
3	起業家育成のための情報提供	チャレンジ支援事業	企画情報課	事業なし			
		アグリビジネス講座(グリーンツーリズム体験・パソコン講座・お菓子作り講座等) (同一事業あり・調書省略)	農林課				77
		熟年就農講座(新規就農支援講座)	農林課				79
		地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				55
4	再就職への支援	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				55
		関連機関との連携	商工観光課				80

推進方策4 国際交流・協力の推進

1. 国際交流の充実および国際感覚の向上

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	国際ボランティア養成講座の開催	中国象山県との交流事業(中国語講座開催事業)	総務課	40人	40人	59人	81
2	国際交流の充実	ハワイ交流事業	総務課				82
		津島中学校カナダ交流事業	学校教育課	事業なし			
		日韓友好支援事業	生涯学習課				83
3	国際社会の動向の情報収集		企画情報課				

基本目標Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり

推進方策1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援

1. 働き方の見直しの促進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	事業所に対する働き方の見直しの意識啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
		担い手アクションサポート事業(家族経営協定締結支援) (同一関連事業あり・調書省略)	農林課				51
2	労働時間短縮等の促進	市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課	職員1人平均年 11日1時間	職員1人年平均 10日以上	職員1人平均年 10.5日	84
		市職員の休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課				85
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52

3	在宅勤務等、新しい就業形態等の推進	市職員への短時間勤務制度の導入	総務課				86
		市職員の時間外勤務時間の削減	総務課	-	年間上限 360時間	-	87
		高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業) (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				67
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
4	子育てを促進する職場環境の整備	高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業) (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				67
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52

2. 家庭生活における男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	家庭での男女共同参画に関する意識啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		意識啓発促進事業(啓発紙作成事業) (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課				38
2	男女共同参画による子育ての促進	保育所・子育て支援センター事業	福祉課				88
		幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	教育総務課	100%	100%	100%	89
		おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	73%	100%	77%	90
3	男性の家事・育児等への参画促進	保育所事業(親子料理教室・育児教室)	保険健康課	事業なし			
		両親学級	保険健康課				91
		男性料理教室(地区公民館) (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課	2館	30館	%	39

推進方策2 育児期・介護期における環境の整備

1. 子育て支援の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	育児休業制度の促進	市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課				92
		市職員の育児休業等取得率の向上(少子化・子育て支援)	総務課	男性2.9% 女性100%	男性10% 女性100%	男性0% 女性100%	93
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
2	子ども看護休暇制度の啓発	市職員への子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課				94
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
3	男性の育児休業取得に向けた意識啓発	「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課				95
4	育児支援サービスの利用促進	保育サービスネットワーク事業	福祉課				96
5	保育サービス総合連絡調整会議の開催	保育サービス総合連絡調整会議の開催	福祉課				97
6	延長保育の充実	延長保育の充実	福祉課	6箇所	7箇所	6箇所	98
7	休日保育の充実	休日保育の充実	福祉課				99
8	特定保育の実施	特定保育の実施	福祉課	1箇所	1箇所	1箇所	100
9	病後児保育の充実(施設型)	病後児保育の充実(施設型)	福祉課	1箇所	2箇所	1箇所	101
10	子育て短期支援事業(ショートステイ)の充実	子育て短期支援事業(ショートステイ)の充実	福祉課	事業なし			
11	一時保育の充実	一時保育の充実	福祉課	6箇所	7箇所	6箇所	102
12	パソコンネットワークの構築	保育サービスネットワーク事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				96
13	放課後子どもプランの充実	学童保育の充実	福祉課	9箇所	10箇所	9箇所	103
		放課後子どもプランの充実	生涯学習課	10箇所	6箇所	10箇所	104
14	地域子育て支援センター事業への支援充実	地域子育て支援センター事業	福祉課	5箇所	5箇所	5箇所	105
15	つどいの広場事業の実施	つどいの広場事業の実施	福祉課	事業なし			
16	ファミリー・サポート・センター事業の実施	ファミリー・サポート・センター事業	福祉課	1箇所	1箇所	1箇所	106
17	児童館設置の検討	児童館設置の検討	福祉課	事業なし			
18	育児支援等各種の情報提供	保育サービスネットワーク事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				96
19	乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成	乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課				107
20	ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成	母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課				108
21	ひとり親家庭への相談・支援活動の充実	家庭・児童相談室(相談員3人)	福祉課				109

22	ひとり親家庭への就労支援	母子自立支援事業	福祉課				110
23	子育て意識の啓発	子育て支援広報啓発事業	福祉課			実施なし	111
		健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	78%	100%	83%	112
24	子育てを支援する環境整備	歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	21%	21%	113
		都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課				114
		公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	56戸	56戸	115
25	地域交流の推進	保育所地域交流事業	福祉課				116
		幼稚園における地域交流	教育総務課				117
		豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	87%	118
		地域交流推進事業	生涯学習課				119

2. 介護支援の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	介護休業制度の促進	市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課				120
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				52
2	男性の介護休業取得に向けた意識啓発			事業なし			
3	介護支援サービスの利用促進			事業なし			
4	介護支援の充実	家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課				121
		在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課				122
		地域自立生活支援事業(栄養改善配食事業(週1回配食、安否確認))	高齢者福祉課				123

基本目標Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり

推進方策1 あらゆる暴力の根絶

1. あらゆる暴力の防止

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	あらゆる人に対する暴力の防止	防犯灯設置補助金交付事業	企画情報課				124
		児童虐待・DVに関する情報を広報に掲載	福祉課				125
		高齢者に対する暴力(家族による年金の取上げ、虐待)の防止	高齢者福祉課				126
		「愛の一声」活動推進事業(少年センター)	生涯学習課				127
		市民啓発推進事業	人権啓発課			1回	128
2	配偶者等からの暴力の防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		DVに関する情報を広報に掲載	福祉課				129
3	ストーカー行為防止対策	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		婦人相談員事業	福祉課				130
4	外国人労働者に対する暴力等の防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		外国人登録申請時における事業主に対する啓発事業	市民課				131

2. 相談体制の充実と被害者保護の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	相談事業の充実	婦人相談員事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				130
2	被害者保護の推進	DV被害者の申請による住民票等交付制限の取扱い等の徹底	市民課				132
		相談体制の充実(週5日常勤の婦人相談員の配置)	福祉課				133
3	雇用の分野以外でのセクシュアル・ハラスメントの防止・相談体制の充実	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				2
		婦人相談員事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				130

推進方策2 生涯を通じた健康支援

1. 市民の健康づくり支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	健康教育・健康相談	健康相談事業	保険健康課				134
		健康教育事業	保険健康課				135
2	生活習慣病予防教室	特定保健指導の推進	保険健康課	41%	60%	36%	136
		健康教育事業(ヘルスアップ実践講座)	保険健康課				137
		糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)				138
		心臓病教室	病院局 (宇和島病院)				139
3	壮年期からの健康づくり	心の健康相談事業	保険健康課				140
4	男性に対する健康づくり支援	心の健康づくり教育事業	保険健康課				141
		健康教育事業 (同一関連事業あり・調書省略)	保険健康課				135
5	喫煙・飲酒に対する対策	健康教育事業 (同一関連事業あり・調書省略)	保険健康課				135
		健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	91%	142
		受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課			30館	143
		敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	3施設	2施設	3施設	144
		喫煙室(入所者向け)の設置	病院局(介護老人)				145
6	女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援	母親学級・両親学級	保険健康課				146
		妊産婦相談	保険健康課				147
7	安心して子どもが産める環境づくり	母親学級・両親学級 (同一事業あり・調書省略)	保険健康課				146
		妊産婦相談 (同一事業あり・調書省略)	保険健康課				147
		妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課				148
		母子健康手帳の交付事業	保険健康課				149
		安産教室	病院局 (宇和島病院)				150
		育児学級	病院局 (宇和島病院)				151
		カンガルー学級(母乳育児支援学級)	病院局 (吉田病院)	事業なし			
8	生涯スポーツの推進	総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課				152

2. 教育・相談の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及	HIV／エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課				153
		健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	87%	154
2	発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進	生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86%	100%	87%	155

3. 保健・医療体制の整備

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	健康診査	基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	16.8%	50%	20.3%	156
		がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課				157
		医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	73自治会	50自治会	49自治会	158
		地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)				159
		人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)				160
2	がん検診の体制整備	がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)(同一関連事業あり・調書省略)	保険健康課				156
		地域がん診療連携拠点病院としての機能充実 (同一関連事業あり・調書省略)	病院局 (宇和島病院)				159
3	地域医療の充実	国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	9施設4医師	161
		診療船うわじま維持管理事業	保険健康課				162
		病院と診療所の連携強化	保険健康課				163
			病院局				164
		ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	1施設	1施設	1施設	165

推進方策3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備

1. 社会参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	地域生活支援体制の整備	コミュニティバス運行事業	企画情報課	40,607人	43,000人	38,971人	166
		生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課				167
		離島航路維持・確保事業	企画情報課				168
		交流拠点施設からの地域産品宅配サービス事業の検討	企画情報課	事業なし			
		在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課				169
		家族介護支援事業(介護用品支給事業) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				121
		在宅老人等介護手当事業 (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				122
		地域支援事業(栄養改善配食事業(週1回配食、安否確認) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				123
2	地域生活の支援	意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	404人	500人	431人	170
		移動支援事業	福祉課	30人	83人	14人	171
		地域活動支援センター	福祉課	150人/月	200人/月	180人/月	172
		日常生活用具医療等事業	福祉課	559人	520人	571人	173
		相談支援事業	福祉課				174
		自立支援医療事業	福祉課				175
		重度心身障害者医療事業	福祉課				176
		特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課				177
		特別児童扶養手当事務事業	福祉課				178
3	教育・育成の充実		福祉課	事業なし			
		特別支援教育推進事業	教育総務課				179
			学校教育課				180
4	消費者対策の充実	消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	292人	1,500人	323人	181
		消費者啓発事業(消費啓発講座)	企画情報課	-	200人	-	182
5	高齢者の生きがいづくり	老人クラブ育成事業	高齢者福祉課				183
		老人福祉事業(シルバー人材センター充実支援) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				54
		熟年就農講座(新規就農支援講座)	農林課				184
		高齢者の生きがいづくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	19館	30館	21館	185
6	高齢者や障害者等にやさしいまちづくり	歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等 (同一関連事業あり・調書省略)	建設課	20%	21%	21%	113
		都市公園における移動等円滑化への対応 (同一関連事業あり・調書省略)	都市整備課				114
		公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大) (同一関連事業あり・調書省略)	建築住宅課	56戸	56戸	56戸	115
		障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館	13館	186

2. 介護予防事業の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	項
				現状値(H23)	目標値(H24)	実績値(H24)	
1	介護予防事業の実施	介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課				187
		介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課				188
2	地域包括支援センター事業の実施	介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課				189
		総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課				190
		成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課				191
		包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課				192
3	認知症高齢者への支援	介護予防一般高齢者施策事業	高齢者福祉課				193
		総合相談・権利擁護事業 (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				190

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
具体的施策	[1] 男女共同参画セミナーの開催

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	0講座／年	1講座／年	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて、男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために研修会を行う。									
平成24年度実績									
公民館講座1回:「震災から学ぶ地域講座～慌てず迅速に避難するために～」 参加者数:20人								決算額	
								20千円	
								実績値	
								1講座	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
平成24年度、参加人数は少なかったが1講座実施できたため、今年度も継続実施できるようにしたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
公開講座1回(実施予定)								予算額	
								50千円	
								目標値	
								1講座	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
具体的施策	[2] あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報誌などにより周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成24年度においては、市主催、教育委員会・女性団体連絡協議会との共催により「男女共同参画講演会を開催。									
平成24年度実績									
【男女共同参画講演会】 日時：平成24年7月1日（日）13：30～15：00 場所：南予文化会館 内容：講演会「素敵に生きる～自分流ワーク・ライフ・バランス～」講師 一龍斎春水 氏 ロビー展（男女共同参画啓発パネル展、人権に関するパネル展、健康に関するパネル展）								決算額	
								555千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
「男女共同参画講演会」において、身近なテーマに視点を置いた講演を行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて、意識が深められたと思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
【男女共同参画講演会】 日時：平成25年6月2日（日）13：30～15：00 場所：南予文化会館 内容：講演会 講師 宮西達也 氏 ロビー展 （男女共同参画啓発パネル展、人権に関するパネル展、健康に関するパネル展、消費生活に関するパネル展）								予算額	
								930千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
具体的施策	[2] あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
「議会だより」への掲載	議会事務局			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
年4回発行している議会だよりの紙面の一部を利用して男女共同参画啓発に関する文面を掲載する。									
平成24年度実績									
実績なし								決算額	
								-	
								実績値	
								-	
								進捗状況	
								-	
事業に対する評価・課題等									
議会的には題材に乏しいが、女性議員を特集するなど、今後検討していく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
実施を検討する。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進
具体的施策	[1] 情報の収集・発信の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
農山漁村におけるパートナーシップに関する指標調査	農林課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
男女共同参画を推進する中で、農山漁村の分野で経営参画、社会参画に関する目標を設定して参画促進に向けて取り組んでいく								
平成24年度実績								
女性の経営参画 1. 認定農業者数 465人 内女性10人 2. 農業指導士 5人 内女性1人							決算額	
							0千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
関係機関と連携して女性の積極的参画を推進していきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
関係機関と連携して女性の積極的参画を推進していきたい。							予算額	
							0千円	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進
具体的施策	[1] 情報の収集・発信の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
農山漁村におけるパートナーシップに関する指標調査	水産課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
男女共同参画に関する各種情報の収集・提供、定期的な調査実施による市民意識の把握をしようとするものです。									
平成24年度実績									
本年度(平成24年度)調査 未実施								決算額	
								—	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	1 広報・啓発の推進
施策の方向	2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進
具体的施策	[2] メディアにおける男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課 [企画調整]	1人/3人	1人/4人	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検し、必要に応じて見直しを行います。また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討します。									
平成24年度実績									
市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検している。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								1人/3人	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現ができた。 刊行物等に関する表現についてはガイドラインの作成には至っていない。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
市も広報紙、ホームページ等での表現については、今後も点検しながら業務を遂行し、必要に応じて見直しを行う。 また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討する。								予算額	
								-	
								目標値	
								1人/3人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。 学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。									
平成24年度実績									
PTA研修会の内容を検討し、充実を図った。また、地区別懇談会での学習会充実も行った。 学校通信、学級通信など、各種通信を定期的に発行した。また、ホームページの更新にも努めた。 地区別教育懇談会を開催し、家庭学習や学校での学習の様子などを理解していただき、 学校と家庭との協力関係を構築できた。 男女の特性を理解したうえでの家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、 発達段階に応じた年間指導計画でその基盤を学習している。									決算額
									実績値
									93%
									進捗状況
									4
事業に対する評価・課題等									
研修・学習会等の行事への保護者の出席率が高まり、夫婦で参加する保護者も増加した。 講演会など、各種行事への参加人数の確保が難しい。 発達段階に応じた系統的な学習になるよう、各学年及び各教科部会での研修が必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4
平成25年度予定									
教科(家庭科、社会科、保健体育科)の授業において、家庭教育に関する学習を推進する。 各種通信やホームページ等を利用し、情報発信に尽力する。 各教科及び道徳、総合的な学習の時間、行事を含む特別活動、さらには給食、清掃活動などすべての 教育活動において取り組む。 PTA運営委員、学級PTAを中心に、誰もが参加できる行事の運営を工夫する。									予算額
									目標値
									100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	30館	30館						
事業の概要									
家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。									
平成24年度実績									
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 29館 講座実施回数 : 88講座 延べ時間数 : 157時間 参加者数 : 3370人(うち、女性2140人、男性1230人)								決算額	
								471千円	
								実績値	
								29館	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
実施公民館数が、平成23年度から1館減少した。 講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
【家庭教育講座】(予定) 実施公民館数 : 30館 講座実施回数 : 101講座 延べ時間数 : 137時間								予算額	
								459千円	
								目標値	
								30館	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
校区别人権・同和教育懇談会	人権啓発課	2回	5回	①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。								
平成24年度実績								
会 場 宇和島市立奥南小学校 平成24年6月24日(日) 参加者:74名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん 会 場 宇和島市立結出小学校 平成24年11月13日(火) 参加者:30名 「みんなちがってみんないい」 講師 宇和島市立下波公民館長 酒井忠彦 さん 会 場 宇和島市立宇和海中学校 平成24年11月25日(日) 参加者:80名 「みんなちがってみんないい」 講師 のらねこ学かん館長 塩見志満子 さん 会 場 宇和島市立喜佐方中学校 平成25年1月25日(日) 参加者:48名 「自尊感情を育てることは、お互いの人権を尊重すること」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん 会 場 宇和島市立南部小学校 平成25年2月2日(土) 参加者:60名 「みんなちがってみんないい」 講師 宇和島市立下波公民館長 酒井忠彦 さん								決算額
								40千円
								実績値
								5回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
言葉の大切さや「人権」の意味について、児童にも分かりやすく話をしていただいた。友だちなどの人間関係についても、考え直す機会となり、感想の中にもそのことがよく表れていた。パワーポイントを利用し、変化と機知に富んだお話で、楽しい充実した講演であった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を4回程度開催する。								予算額
								40千円
								目標値
								4回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課 [子育て支援]	100%	100%					
事業の概要								
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。								
平成24年度実績								
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							100%	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
特になし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
前年と同様							予算額	
							0千円	
							目標値	
							100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。									
平成24年度実績									
○一人一人の幼児理解とその特性を生かしながら心身ともに調和的な発達を図るとともに、自分の思いや考えなどを表現することができ、友達の思いにも気付き優しさや思いやりの気持ちをもつことができるよう援助してきた。 ○幼児一人一人の発達の特性を理解し、よりよい成長が図られるよう家庭と連携を図りながら見守ったり援助したりした。 ○一人一人の幼児理解と指導法について研修を重ねていくと共に、幼児同士が互いの良さや思いに気付くよう場を捉えて援助していった。 ○地域の方や身近な人たちに、身近なお話をしていただいたり、一緒に活動できるように努めた。 ○職員の共通理解のもと幼児一人一人の発達や特性に応じた指導を心掛けて保育に取り組んできた。また、保護者学習会で家庭教育の大切さを知らせるなど、家庭の教育への啓発を図ってきた。 ○家族参観日など子育てに関心を示してもらおう機会を設けるとともに、人権同和教育の研修会や保育実践を行う。									決算額
									—
									実績値
									100%
									進捗状況
									5
事業に対する評価・課題等									
○一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに、命の大切さについても知らせていく。 ○幼児一人一人の思いや願いを受け止めながら発達に即した教育を行うことができた。しかし、生活リズムの乱れから欠席が続く家庭については、理解・協力がなかなか得られなかった。 ○互いの良さに気付き、仲よく活動したり、優しく接したりする姿が見られるようになってきている。 ○身近な人たちに、読み聞かせや リトミックを体験させることができた。 ○共通理解のもとで指導を行うことにより、一人一人に応じた適切なかわりができ、思いやりの心を育むことができた。また、保護者の子育てに対する意識の変化がみられるようになった。 ○人権同和研修会等を通して人権の尊重への意識や家庭生活の大切さを理解してもらっている。父親の研修会参加が課題である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成25年度予定									
○一人一人の幼児理解と、個々の発達や実態に即した指導の在り方を職員間で研修する場の充実 ○一人一人の幼児理解に努め、幼児の思いや願いを言葉で伝えあう個にあった指導の在り方を推進する。 ○幼児同士がふれ合い、自分の思いをのびのび表現しながら活動できる場の工夫に努め、互いの良さに気付かせていく。 ○引き続き職員間の幼児理解と個に応じた援助等を行うとともに、保護者への啓発に努める。 ○家族参観日 ○人権同和研修会									予算額
									—
									目標値
									100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	97%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。 児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。 男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。									
平成24年度実績									
教員一人一人の能力・特性を生かした公務分掌の配置。 清掃、体育祭・運動会、遠足、諸活動などを学年を超えて班に分けて行った。 全校児童生徒を対象に「生活アンケート」を毎月行った。 道徳教育・人権同和教育・性教育を充実させ、差別的な言動には、毅然とした態度で指導を行った。								決算額	
								実績値	
								97%	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
組織力を生かした指導が充実していた。 児童生徒からの情報収集ができ、いじめや不登校の事前防止に役立った。 男女平等の意識が高まり、お互いが協力して行事等に取り組む姿勢がいろいろな場面で見られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
保育園、障害者施設、ケアハウス、老人ホームなどとの交流活動を年間計画に組み込み、充実を図る。 部活動や、交流学习によるふれあいを継続させる。 児童生徒一人一人に目を向けた教育相談の充実を図っていく。 道徳教育の充実を図る。 教職員の人権意識の向上と、協力体制の確立を図る。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	②継続	●	③新規	
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	1回						
事業の概要								
様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。								
平成24年度実績								
日 時 平成24年8月9日(水) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テーマ 「私を創ったもの ～部落差別との出会い～」 講 師 大阪教育大学教職員教育研究センター研究協力員 土田 光子 さん 参加人数 479名								決算額
								302千円
								実績値
								1回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
「私を創ったもの～部落差別との出会い」と題して、父から虐待を受ける中、被差別部落の人々との出会いにより、支え合うこと、信じ合うことの大切さを知り、しんどい子どもたちの支えになろうと教師になり、同和地区にある中学校の担任として、家族のようにつながりあう学級づくりを目指し奮闘したその体験を熱く語っていただいた。 参加した教職員からは、しんどい子どもと真摯に向き合う講師の姿に感銘を受けたとの声が多く聞かれた。また、改めて教育を見直すよい機会になったとの感想もあった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
日 時 平成25年8月9日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テーマ 「LD(学習障害)は僕のID ～認め合うことで見えてくる風景～」 講 師 明蓮館高等学校 共育コーディネーター 南雲 明彦 さん 参加人数 479名								予算額
								417千円
								目標値
								1回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%		①充実		②継続		③新規
事業の概要								
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。								
平成24年度実績								
○園だより・クラスだより等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さ ○いろいろな活動や経験を通して、幼児自身が主体的に考え、行動できるよう場に応じて援助した。その様子を、園だより・クラスだより・保護者学習会・参観日・懇談会等を通して、保護者へ知らせていった。 ○家庭の協力を得ながら幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、主体的に取り組む幼児の育成を目指してきた。 ○保護者研修会・クラス懇談会・園だより・クラスだより等を通して、幼児の気持ちや保護者の思いを話し合ったり発信したりして、子育ての大切さや楽しさを伝えた。 ○一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる幼児を育てる。								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○保護者との連携を深め、協力しながら幼児の発達の過程や社会の変化に対応し、自分で考え、自分で行動することができる生きる力の基礎を身につけることができるように努める。 ○いろいろな活動に意欲をもって、取り組もうとする姿が見られるようになってきている。幅広い考えができるよう活動内容の充実を図っていく必要がある。 ○幼児にとって、実体験の大切さと必要性、それによる発達の違いなどを実感した。今後も保護者の協力を得ながら、幼児に様々な体験をさせたい。 ○園生活の中で様々な体験を通して、人とかかわる力や表現する力が育ってきている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
○家庭教育啓発の在り方や連携の充実を図る。 ○保護者の実状に適した学習会の内容を取り入れ選択と連携の充実を図る。 ○園生活を通して、様々なことに興味、関心をもち、自己発揮しながら活動できる環境設定の充実や、援助の仕方を考えていく。 ○家庭教育学習会の内容と選択の充実 ○保護者との連携を通して一人一人の課題や問題点を探り、解決に努める。 ○園内研修 ○各研修会への参加								予算額
								—
								目標値
								100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
特別支援教育推進事業	学校教育課	91%		①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。 校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。 一人一人の良さを生かす教育を推進する。									
平成24年度実績									
特別支援教育支援員を計画的に有効活用した。 個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、実施した。 特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教育の校内研修の充実を図った。								決算額	
								実績値	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。 支援員との協力のもと、落ち着いた学習活動ができた。 教職員の研修が深まり、個に視点をあてた取り組みをすることができた。 発達障害について、研修を深めることができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
特別支援学級の児童生徒に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に務める。 特別支援学級と協力学級との連携を強化し、児童生徒の居場所づくりに努める。 巡回教育相談等を活用して、特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導のあり方についての理解を深める。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。 キャリア教育の推進。 発達段階に応じた職業意識を育てる。 自己有用感を育てる。									
平成24年度実績									
体験活動を通じて、園児とのふれあい、お年寄りとの交流の機会を設定することで、自己有用感を高めることができた。 個人差への対応のため、補充学習にも力を入れた。 総合的な学習で、産業・歴史・文化等について調べ学習を行い、校区に対する理解を深めることができた。 職業選択の自由の保障、将来の夢や希望を持ち、明るい気持ちで生活しようとする態度の育成に努めた。								決算額	
								実績値	
								85%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
児童生徒にとって、児童生徒会活動・係活動・当番活動で働くことの大切さが理解できた。 活動を通して、男女の協力体制がさらに強まった。 地域を調査することによって、郷土を愛する心がより深まった。 進路についての児童生徒の意識に変化が見られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
上級生と下級生の交流、活動の活性化と個別の補充学習をいっそう計画的に進めていく。 委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。 社会見学、体験活動の充実を図る。 基礎学力の定着を図り、将来について考えさせる時間を充実する。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。									
平成24年度実績									
○保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。 ○女性だけの職場であるが、常に自分の役割を果たすよう、協力して仕事に取り組んだ。また、PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。 ○職員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。 ○園内研修を通して、教師自身が男女平等の意識をもち、園運営に携わったり、保護者に対応したりしていった。 ○父親にPTAだよりの原稿依頼を呼びかけた。 ○職員が共通意識をもち、保護者が参加しやすいPTA活動を心掛けてきた。 ○PTA活動の中で、男女参画に関わる学習の機会を提供する。 ○園行事に父親参加を呼びかけ、子育てへの関心をもってもらった。									決算額
									—
									実績値
									87.5%
									進捗状況
									3
事業に対する評価・課題等									
○男女協同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。 ○PTA活動の中で、家庭教育に関する学習の機会を提供できてよかった。 ○PTA活動の中で、男女共同参画にかかる家庭教育に関する学習の機会を提供する必要がある。 ○園行事やPTA活動の中で、職員、保護者同士が協力し合う姿が見られた。今後も、男女参画に対する理解を深めていけるよう、研修していく必要がある。 ○母親の原稿依頼が大半ではあるが、父親の原稿依頼も出来るようになってきている。 ○保護者のニーズに合った行事日程を組むなど園行事の見直しを行った。地域との交流を含め、PTA活動には、父親の参加も多く協力的である。 ○園行事やPTA活動の中で、父親の参加推進を図ることができた。 ○父親の参加者は多いが、子育てに対する理解には至っていない。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成25年度予定									
○人権・同和教育保護者学習会や子育て学習会、PTA活動の充実を図る。 ○幼児への適切な指導のための園内研修やPTA活動を充実する。 ○男女参画に関する研修の場をもち、意識を高めていく。 ○気軽に参加できる行事やPTA活動の実施 ○子育てに関する学習会やPTA活動の精選、保護者だけでなく祖父母も参加しやすい行事の持ち方を工夫をする。 ○園行事やPTA活動の充実 ○園行事を中心としたPTA活動									予算額
									—
									目標値
									100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	●	②継続		③新規	
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	88%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。									
平成24年度実績									
教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所による校務分掌を組織することができた。 男女の特性を活かしたPTA活動を行うことができた。(PTA役員への女性の登用) 互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。 地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組めた。 重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。								決算額	
								実績値	
								90%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
適材適所の組織作りができ、スムーズな学校運営ができた。 PTA活動を、男女が協力して取り組む場面が多々見られた。 教職員集団が団結し、共通理解のもと、協力した実践ができた。 学校関係者評価委員会での答申を元に明確になった課題に対して、具体的な改善や問題解決に取り組んだ。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
全員で協力して取り組む組織体制作り。 男女の特性を生かしたPTA活動への参画。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[4] 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
教職員の資質・能力の向上推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
男女共同参画に関わる研修の充実。 教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。									
平成24年度実績									
校内研修の質的充実を図るため、研修内容の多様化に努めた。また、研修会の参加報告をまめに行った。 多くの教員が研究授業を行い、教員の資質の向上に努めた。 校内研修だけでなく、いろいろな研修の機会を設けた。									決算額
									実績値
									84%
									進捗状況
									4
事業に対する評価・課題等									
多様な校内研修を実施することにより、教員の実務能力を高め、校務に活かすことができた。 教育委員会・教育事務所指導主事より具体的な指導を受けた。 教職員の意識向上が見られた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4
平成25年度予定									
教職員の能力・資質の向上のために、計画的な校内研修を行う。 学力向上の推進、学習指導の改善についての研修を行う。 校外で受講した研修内容を報告し、知識・意識の共有化を図る。 スクールカウンセラー等を講師とした校内研修の実施。									予算額
									目標値
									100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	●
男女共同参画出前講座	企画情報課 [総務]	0回	5回						
事業の概要									
市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。									
平成24年度実績									
H24.5.8 宇和島市女性団体連絡協議会宇和島支部総会「内容・テーマ：自分らしく生きるということ」 H24.7.20 宇和島市男女共同参画審議会「内容・テーマ：男女共同参画とは」 H24.9.24 宇和島市女性団体連絡協議会三間支部「内容・テーマ：幸せな人間関係と夢をはぐくむ選択理論」 H25.2.7 宇和島市立番城公民館「内容・テーマ：もっと自分を好きになるコミュニケーション術」									決算額
									53千円
									実績値
									4回
									進捗状況
事業に対する評価・課題等									
幅広いテーマでの出前講座を開催し、男女共同参画について各団体等が考えるきっかけづくりができ、男女共同参画についての理解が深まった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4
平成25年度予定									
昨年度と同様に広報への掲載・関係団体へのチラシ送付等により事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。									予算額
									92千円
									目標値
									—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	34回	15回	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。 このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。									
平成24年度実績									
わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 目的：同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間：平成25年1月25日～平成25年3月5日 会場：20自治集会所（25自治会区） 参加者数：128名 内容：アイスブレイキング（様々なリボン）、視聴覚教材による人権学習他 推進員：公民館主事、教職員、その他 であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 テーマ：一人ひとりの人権が尊重される町づくりをめざして 会場：16自治会の集会所または公民館（16自治会区） 開催期間：平成24年10月5日～平成24年10月19日 19:30～21:00 参加者：182人 講師：三間町人権教育推進委員（32名：6藩編成）であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会								決算額	
								1,044円	
								実績値	
								41回	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。 であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう参加者を増やしていくかが課題である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 視聴覚教材等を活用して同和問題をはじめとする様々な人権問題について学習予定 予定期日：平成25年10月～平成26年3月（36自治会25会場で講座予定） であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 平成25年度は14自治会で実施予定 開催予定期間：平成25年10月4日～平成25年10月17日 19:00～21:00								予算額	
								950千円	
								目標値	
								39回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	来場者数 1100人	1000人	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。									
平成24年度実績									
事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田中学校体育館 期日:平成25年2月14日(木) 参加人数:350名 内容:人権啓発作品展示、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(遠見子ども会・宇和島市連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、音楽劇(吉田小学校4年生)、朗読劇(吉田中学校有志) 講演:講師 土田 光子(演題:「人権教育の新たな展開に取り組んで」) 事業名:宇和島市人権を考える市民の集い&人権あったかコンサート 会場:コスモスホール三間 期日:平成24年11月20日(火) 参加人数:670人 内容:三間高校生徒による箏曲演奏、三間中・三間高生徒実行委員会と長島愛生園研修参加児童・生徒による「人権問題学習発表」、人権啓発ポスター展、バザー(ゆいの里) 講演:講師 立木 早絵(テーマ:さらなる一歩を踏み出そう!)								決算額	
								1,303千円	
								実績値	
								1,020人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
事業名:『宇和島市人権を考える市民の集い&人権あったかコンサート』 三間高・三間中生徒実行委員会を中心に司会、運営を行うことにより、より主体的に参加する姿勢を養うことができた。また、人権問題学習発表においても、ハンセン病療養所日帰り研修を通して、学校・団体・行政との交流、連携が深まり、ハンセン病に対する正しい理解と、人権が守られる社会を共に築いていかなければならないとの思いを強くすることができた。 講演では、盲目のチャレンジャー立木早絵さんから、「強く生きる」ということを学ぶことができた。 今後も、より大勢の方に参加してもらうことで、日頃の人権学習の成果をアピールする機会としていきたい。									
事業名:『人権をまもる市民の集い』 子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品の展示、バザー、手話コーラス、人権創作ダンス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取り組みの中で、人権をより身近に感じてもらい人権意識の再考に大きく寄与することができた。大阪教育大学非常勤講師の土田光子先生による人権講演においても、参加者一人一人の胸に人権の大切さを伝えることができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
事業名:『人権を考える市民の集い』 会場:宇和島市立津島中学校 期日:平成25年11月(開催日未決定) 内容:人権啓発資料展、太鼓演奏、人権講演会(講師未定) 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 期日:平成25年11月～12月(開催日未決定) 会場:コスモスホール三間 内容:人権講演会(講師未定)、その他の内容についても未定 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 事業名:『人権をまもる町民の集い』 期日:未定 会場:宇和島市立吉田中学校 内容:人権啓発作品展、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会)、人権講演会(講師未定)								予算額	
								1,701千円	
								目標値	
								1,100人	

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[3] 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課							
事業の概要								
いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。								
平成24年度実績								
【地区公民館】学級・講座(実施回数) ①家庭教育講座:88回 ②人権・同和教育講座:24回 ③女性学級:20回 ④高齢者学級:52回 ⑤成人学級:77回 ⑥公民館講座:138回 【生涯学習センター】 1. 第20回生涯学習うわじまフェスティバル(参加人数) ①夢「であい」魔SHOWコンサート アゲイン:362人 ②第10回宇和島名作劇場:204人 ③第15回宇和島文学歴史講座:184人 ④市民大学(2回):42人 ⑤カタリバイン宇和島2012:33人 ⑥吟遊詩人ライブ:87人 2. 市民講座(実施予定) ①パソコン講座・30回 ②クラフトバッグ教室・4回 ③光る泥だんご作り講座・2回 ④新聞で作るコサージュ講座・2回 ⑤布で作る季節の飾り講座・4回 ⑥クリスマスリース講座・2回 ⑦ヨーガ教室・2回								決算額
								3,631千円
								実績値
								-
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
【地区公民館】 ①家庭教育講座:101回 ②人権・同和教育講座:73回 ③女性学級:36回 ④高齢者学級:77回⑤成人学級:59回 ⑥公民館講座:132回 【生涯学習センター】 1. 第21回生涯学習うわじまフェスティバル(実施予定) ①市民大学3回 ②第11回宇和島名作劇場 ③第16回宇和島文学歴史講座 ④宇和島芸術祭 2. 市民講座(実施予定) ①パソコン講座・30回 ②クラフトバック								予算額
								4,550千円
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。 いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。 メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。									
平成24年度実績									
ホームページ更新のための研修や、ソフト活用のための研修を実施。 総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用で できるようにした。 情報主任が、研修職員会でメディア・リテラシーの研修を行った。 長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行なった。 情報教育の校内研修を実施し、セキュリティについて共通理解を図った。 インターネットや携帯、ブログやラインについて利用方法やマナーについて徹底を図った。									決算額
									実績値
									87%
									進捗状況
事業に対する評価・課題等									
メディア・リテラシーに対する、教職員の意識が高まった。 総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し、 インターネットを通じて、適正な情報収集ができるようになった。 教職員の能力差が大きく、最低限の研修になることがある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4
平成25年度予定									
情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話)。 学校ホームページの充実を図る。 情報機器の活用方法の研修を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。									予算額
									目標値
									100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	1. 市職員の能力開発・登用等の推進
具体的施策	

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課 [人事]	4.7%	3.5%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
平成23年度における一般職(保育士、幼稚園教諭、診療所職員、病院局職員(事務職は除く。))及び派遣職員は除く。)に占める女性職員の割合は27.8%であるのに対して、課長補佐級以上に占める女性の管理職の割合は4.7%にすぎず、政策・方針決定過程への女性の参画促進を継続して推進する必要がある。 また、女性も主体的に政策・意思決定に参画することで、あらゆる分野において多様な視点や考えが確保されるだけでなく、女性職員の登用は管理職員の資質の向上に不可欠である。									
平成24年度実績									
○平成24年度 管理職138人のうち女性職員7人 5.1% ＜内訳:部長9人(うち女性0人)、課長級40人(うち女性2人)、課長補佐級89人(うち女性5人)＞								決算額	
								-	
								実績値	
								5.1%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
管理職数が平成24年度138人から平成25年度132人と減少したが、女性職員の管理職数は平成24年度7人から平成25年度8人と増えたことにより、割合が5.1%から6.1%に増加する結果となった。 依然として女性職員の管理職員が少数であり、今後も女性の管理職への登用を推進する。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								2	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
○平成25年度 管理職132人のうち女性職員8人 6.1% ＜内訳:部長9人(うち女性0人)、課長級39人(うち女性2人)、課長補佐級84人(うち女性6人)＞ 今後において、将来管理職になり得る係長級についても、女性職員を積極的に登用し、同時に意識改革・能力開発のために研修への参加を図る。								予算額	
								-	
								目標値	
								6.1%(実績)	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	1. 市職員の能力開発・登用等の推進
具体的施策	

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
市職員のスキルアップ研修への参加促進	総務課 [人事]	8人		①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
県研修所で行われるスキルアップ研修は、職員からの希望を募り参加させている。女性からの受講希望は希少であるが、女性の能力開発のため、人事係から女性職員を選定している。									
平成24年度実績									
○ 平成24年度実績 ステージアップ研修 14人 うち女性3人 <参考> 係長研修 6人 うち女性0人 市町村アカデミー 1人 うち女性1人								決算額	
									-
								実績値	
								3人	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
女性の受講希望者は少ないが、今後もステージアップ研修のほか階層別研修等への参加を積極的に推進する。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
平成25年度はステージアップ研修27名のうち女性5名を参加させる予定である。								予算額	
									-
								目標値	
								7人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	1. 市職員の能力開発・登用等の推進
具体的施策	

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
計画的な人事異動の実施	総務課 [人事]			①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
専門職を除く若手職員については、早い段階で多様な分野の職務を経験させるための「ジョブローテーション」を推進することとしているが、女性職員についても、固定的な性別役割分担をなくし、計画的な人事異動を推進する。									
平成24年度実績									
○平成24年4月定期異動の状況 病院局医療職・技能労務職及び消防職を除く異動者 268人 うち女性 77人(28.7%)								決算額	
								-	
								実績値	
								-	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
定期人事異動を行う際、若手職員については、男女とも、採用後10年の間に「窓口部門」「総務管理部門」「事務執行部門」の3つの分野をなるべく経験できるよう配慮しているところであるが、職員数の抑制に伴い、男女を問わず異動が困難な状況になっており、長年にわたり同じ部署という職員も見受けられる。 在課年数の長い職員は必ず異動することを前提として、体制を整えていただくよう各担当課にも啓発していきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								2	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
○平成25年4月定期異動の状況 病院局医療職・技能労務職及び消防職を除く異動者 247人 うち女性 81人(32.8%)								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	2. 各種審議会等における女性の参画促進
具体的施策	[1] 各種審議会における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	●	②継続		③新規	
審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課 [総務]	18.2%	35%						
事業の概要									
政策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、地方自治法180条の5に基づき設置する委員会(教育委員会、選挙管理委員会等)、202条の3または、要綱等に基づき設置する審議会・委員会等、政策又は方針の立案及び決定に際して意見を述べ、または審査、審議等を行なう各種審議会等への女性の登用を促進しようとするもの。									
平成24年度実績									
【H.24.4.1現在の女性の登用率】 ○地方自治法180条の5に基づき設置する委員会 3/6(女性がいる委員会/委員会数)、5/63(女性委員数/総委員数)→女性比率9.4% ○地方自治法202条の3に基づき設置する委員会、要綱等による委員会等 30/41(女性のいる委員会/委員会数)、156/821(女性委員数/総委員数)→女性比率19.0% ○地方自治法202条の3以外により設置する委員会等 8/14(女性のいる委員会/委員会数)、25/148(女性委員数/総委員数)→16.9%								決算額	
								-	
								実績値	
								18%	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
各種団体や各課の長が委員となっている組織が多いことから、自ずと登用が進んでいないのが現状である。条例、要綱等の改正も視野に入れ、登用の促進を図っていく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								2	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
【H.25.4.1現在の女性の登用率】 ○地方自治法180条の5に基づき設置する委員会 3/6(女性がいる委員会/委員会数)、6/64(女性委員数/総委員数)→女性比率9.4% ○地方自治法202条の3に基づき設置する委員会、要綱等による委員会等 30/41(女性のいる委員会/委員会数)、166/810(女性委員数/総委員数)→女性比率20.5% ○地方自治法202条の3以外により設置する委員会等 10/15(女性のいる委員会/委員会数)、28/160(女性委員数/総委員数)→17.5%								予算額	
								-	
								目標値	
								19.3%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	2. 各種審議会等における女性の参画促進
具体的施策	[1] 各種審議会における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
選挙時の投票立会人における女性の参画促進	選挙管理委員会	31.3%	35%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙において投票所の管理執行に立会う投票立会人に女性の比率を高めていこうとするものである。									
平成24年度実績									
○衆議院議員総選挙 投票日(12/16) 期日前投票(12/5～12/15) 全体(期日前～投票当日)								決算額	
								実績値	
								31.4%	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
今後とも女性立会人を増員していきたいと思います。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
参議院議員通常選挙及び、市長・市議選挙								予算額	
								目標値	
								35%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	2. 各種審議会等における女性の参画促進
具体的施策	[2] 人材育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
男女共同参画社会づくり活動補助金 交付事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続		③新規 ●
事業の概要								
男女共同参画社会の実現に向けて活動する団体や個人に対して、補助金を交付するもの。行政機関・NPO等各種団体が主催する研修・交流事業に参加する場合や、市民を対象とした研修会の開催、啓発活動等を行う場合を対象として補助を行っている。								
平成24年度実績								
申請なし							決算額	
							—	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							1	
事業に対する評価・課題等								
研修・啓発活動開催、研修会参加の募集を行ったものの、今年度においては申請がなかった。内容や利用方法の周知を、さらに検討する必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							1	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							1	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							1	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							1	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							1	
平成25年度予定								
男女共同参画推進のための活動が活性化されることを目指し、広報などで事業の周知を図り継続実施する。							予算額	
							100千円	
							目標値	
							1件	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[1] 事業者等への女性登用の働きかけ

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	●	③新規
農業協同組合等団体への女性登用の協力要請	農林課							
事業の概要								
女性委員を積極的に登用するよう依頼し、女性の社会進出を図ると共に、農業経営を家族の一員として共に支えることができるよう支援するものである。								
平成24年度実績								
女性のみで構成されている団体においては、女性の視点から農業分野に積極的にかかわっていくための活動を展開した。 各種団体等に対しては、女性委員の登用の必要性の意識づけを図った。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
女性が積極的に参画できる場を提供し、活動が展開できるように推進できた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
今後もあらゆる機会を通して、女性が積極的に農業分野に参画できるよう推進していきたい。							予算額	
							0千円	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[1] 事業者等への女性登用の働きかけ

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
商工会議所、商工会等への要請	商工観光課							
事業の概要								
会議所、商工会等を通じて、事業者等への女性登用の働きかけを依頼する。								
平成24年度実績								
会議所・商工会会員を中心に啓発（総会等）。							決算額	
							-	
							実績値	
							2回	
							進捗状況	
2								
事業に対する評価・課題等								
現在の中小企業を取り巻く状況は、非常に厳しく推進は難しい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成25年度予定								
会議所・商工会会員を中心に啓発（総会等）の継続。							予算額	
							-	
							目標値	
-								

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[2] 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)					
地域審議会への女性の参画促進	企画情報課 [総務]	33.0%	25%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
市町村合併の特例に関する法律第5条の4に基づいて設置される市長の諮問機関で、その位置づけは地方自治法第202条の3に基づく付属機関である。合併にあたり、地域の住民の声を適切に市の施策に反映させ地域の特性に応じたきめ細やかな行政サービスを行っていくため、「地域審議会の設置に関する協議」に基づいて各地域にそれぞれ15名以内の委員で構成される地域審議会を設置しており、この審議会への女性の登用を促進しようとするものである。								
平成24年度実績								
【四地域合同地域審議会】 8/8 (地域審議会の役割について、第一次宇和島市総合計画後期計画について) 【宇和島地域審議会】 1/25 第23回(第一次宇和島市総合計画後期基本計画素案について、地域課題等の意見交換について) 【吉田地域審議会】 1/8 第26回 (第27回会議のための事前会議) 1/29 第27回 (第一次宇和島市総合計画後期基本計画素案について、地域課題等の意見交換について) 【三間地域審議会】 1/30 第19回 (第一次宇和島市総合計画後期基本計画素案について、地域課題等の意見交換について) 【津島地域審議会】 1/31 第18回 (第一次宇和島市総合計画後期基本計画素案について、地域課題等の意見交換について)							決算額	
							475千円	
							実績値	
							28%	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
女性の割合は高い。どの審議会でも女性委員は率先して意見を述べられていた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
7月と11月に各地区それぞれ定例会を予定している。女性の割合は目標値の25%を達成している。 【宇和島地域審議会】総数:14人 女性委員数:4人 女性の割合:28.6% 【吉田地域審議会】総数:14人 女性委員数:4人 女性の割合:28.6% 【三間地域審議会】総数:14人 女性委員数:5人 女性の割合:35.7% 【津島地域審議会】総数:15人 女性委員数:4人 女性の割合:26.7%							予算額	
							570千円	
							目標値	
							達成済 (29.8%)	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[2] 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
国民保護協議会及び防災会議における女性委員の登用	危機管理課	0人						
事業の概要								
各種会議に女性委員を登用することにより、計画策定等に女性の意見も取り入れていくもの。								
平成24年度実績								
女性の新規登用なし。								決算額
								0千円
								実績値
								0人
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成24年度予定								
現時点では現行どおり変更なし。								予算額
								0千円
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[2] 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
廃棄物減量等推進員への女性の参画促進	生活環境課 【廃棄物対策課】	17%	30%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
一般廃棄物の減量化再生利用を促進し、地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために設置される、廃棄物減量等推進員への女性の参画を促進しようとするものである。									
平成24年度実績									
廃棄物減量等推進員(全体)・・・144名 内女性・・・ 24名 内訳 30代・・・ 1名 40代・・・3名 60代・・・ 11名 70代・・・ 9名 24/144=17%								決算額	
								35千円	
								実績値	
								17%	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
全体数に対する女性の割合は17%である。 年齢層も、30代1名、40代3名、60代11名、70代9名という内訳になっている。 推進員の業務については、ごみ収集ステーションへの排出指導や資源物回収の普及推進等があり、子育てに忙しい20代～40代の女性の割合が低くなっている。子育てから離れた60代～70代の女性の割合が高い。 時間的制約の多い世代(20代～40代)の女性の参加者確保が当面の課題である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								2	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								2	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								2	
平成25年度予定									
廃棄物減量等推進員(全体)・・・137名 内女性・・・ 24名 内訳 40代・・・ 3名 50代・・・ 3名 60代・・・ 8名 70代・・・10名 24/137=18%								予算額	
								35千円	
								目標値	
								18%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[2] 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
宇和島市美化運動推進委員会への女性の参画促進	生活環境課【環境課】	13.0%	25%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
宇和島市美化運動推進委員会は、本市における美化運動の推進についても協議し、もって生活環境の保全と文化の向上に資する事を目的とする組織で、本委員会の委員として、女性の登用を促進しようとするものである。									
平成24年度実績									
[美化運動推進委員会における女性の登用状況] 委員8名の内女性1名(登用率12.5%)、会長:宇和島市女性団体連絡協議会会長(女性) [会議の開催状況] 平成24年4月24日(火)第1回美化運動推進委員会開催(議事) ○花いっぱい運動推進重点地区事業としての花いっぱい運動推進について ○環境美化推進を図るための団体・個人へのごみ袋支給 ○国道沿線等美化清掃活動としての「クリーン新宇和島」実施について ○美化推進に寄与した団体・個人の表彰実施について 平成24年11月8日(木)美化表彰式								決算額	
								—	
								実績値	
								13%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○委員会は各団体の代表で構成されているため男性である場合が多く、女性の登用が自ずと抑制されている。 ○市民の意識向上により環境問題及び美化推進にも賛同していただき、美化推進活動については男女の区別なく参加人数が増加しているものの、若年層の参加が少ないようにも見える。									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								2	
平成25年度予定									
○美化運動推進委員会における女性の登用状況は24年度と同様 ○美化推進活動については25年度も計画実施し、内容的にも各種事業につき「男女共同参画」を意識して展開する								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	3. 企業・地域団体等における女性の参画促進
具体的施策	[2] 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
まちづくり女性会議の設立	商工観光課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
女性の視点による中心市街地の活性化を試みるため、女性を中心とするまちづくり会議「まちづくりBeppin塾」を設立。								
平成24年度実績								
○定例会(まちづくり会議)の開催(年8回) ○まちづくり通信「Vif」を作成し、毎号4,000部配付(年3回発行) ○海の恋人まつり実行委員会への参画 ○うわじまんMAPの制作協力 ○まちづくりBeppin塾についての勉強会(年2回)								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○それぞれの立場からまちづくりについて真剣に取り組んでいる。 ○持続的な活動と自立に向けた話し合いが必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成25年度予定								
平成24年度と同様に定例会の開催、まちづくり通信「Vif」の発行を行っていく。 また、持続的な活動と自立に向けての勉強会も開催予定。								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[1] 地域社会での男女共同参画意識の啓発

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
意識啓発促進事業(啓発紙作成事業)	生涯学習課	—	3,000枚	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
地域における各種事業について、性別にとらわれず誰でも気軽に参加でき、様々な計画にも女性が主体的に関わることができるよう意識啓発を図る。									
平成24年度実績									
【啓発紙原案の協議】 他県、他市の啓発紙を参考に、原案の方針を継続して協議中。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
原案の方針・方向性を決定した段階で、今後は詳細部分について各地区公民館と協議する予定。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
原案の方針・方向性を決定し、各地区公民館と詳細を協議し、原案を完成させる。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[2] 男性の地域活動への参画促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	2館	5館	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
高齡化や核家族化が進む中、地域の男性を対象に料理教室を開催することにより、夫婦がともに協力し合うことの大切さや男性が積極的に家事に参画する意識の向上を図る。									
平成24年度実績									
【男性料理教室】 開催公民館数:3館 開催回数 :13回 参加者数 :173人(うち、男性101人)								決算額	
								15千円	
								実績値	
								3館	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
開催公民館数が、平成23年度より1館増加して合計3館となった。公民館として、当該事業に対する取り組み姿勢がまだ消極的なため、各地区公民館に対して積極的な開催を促す必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
【男性料理教室】(予定) 開催公民館数:5館 開催回数 :15回								予算額	
								17千円	
								目標値	
								5館	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[3] コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
自治会単位での自主防災組織の育成	危機管理課	410組織	430組織	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
男女がともに地域での防災活動へ参画できるよう自主防災組織の育成を促進し、参画機会を提供します。									
平成24年度実績									
平成25年3月31日現在 自主防災組織数 413組織(組織率 88.0%) 平成24年度に結成した組織数 3組織 自主防災組織による防災訓練数 18件 自主防災組織結成支援事業補助金支給組織数 3組織								決算額	
								297千円	
								実績値	
								413組織	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
男女の別なく組織での防災活動には参画しているが、各種責任者については男性の比率が多い。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								2	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成24年度予定									
訓練を実施していく中で、自主防災組織を支援し育成を促進していく。								予算額	
								1,000千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[3] コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
花いっぱい運動	生活環境課 【環境課】			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
花いっぱい運動推進重点地区事業として宇和島市の駅前、港の玄関口及び公共施設を市内各種団体の協力を得て、花壇・プランターに四季の花の植栽・灌水・除草除去等の管理をしていただき花いっぱい運動の推進に努めた。								
平成24年度実績								
〔花づくりボランティア実施団体(地域環境づくり団体)〕 (旧市内)花による街づくりグループ、中組老人クラブ、住吉美化推進グループ、明倫環境美化推進グループ、パールサンセット、保田自治会等ほか (旧津島)増穂実このみ会、山財沿道美化を進める会、若葉会、畑地沿道美化を進める会、はまゆう会、てんやわんや王国ほか (旧吉田)御殿内集会所運営委員会、御殿内ファミリー、ニューモラル宇和島、本町会、吉田商工会本町会、白浦三つ葉会、吉田町手をつなぐ育成会他 (オレンジロード分)浦知小学校、藤堂組、畑地小学校、浅田組、丸之内歩道橋ファミリー、栄町Fガーデン、富士建設コンサルタント、立間婦人会、少林寺拳法宇和島支部、亀岡建設、松広造園							決算額	
							2,521千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
緑化推進事業として年2回実施しているが、ボランティアで各団体に管理運営をしていただいており、市民からも好評を得ている。男女がともに参加できる事業であるが、女性の方が多く、また高齢者の方の参加協力が多いという傾向もある。今後は若年層及び男性にも参加を呼びかける啓発運動を実施したい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							2	
平成25年度予定								
平成25年度も計画実施し、各種団体などに協力を得ながら花いっぱい運動を展開する。							予算額	
							2,550千円	
							目標値	
							年2回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[3] コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
まちづくりの主体となる組織・リーダー育成事業	商工観光課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
女性の視点による中心市街地の活性化を試みるため、女性を中心とするまちづくり会議「まちづくりBeppin塾」を設立。								
平成24年度実績								
○定例会(まちづくり会議)の開催(年8回) ○まちづくり通信「Vif」を作成し、毎号4,000部配付(年3回発行) ○海の恋人まつり実行委員会への参画 ○うわじまんMAPの制作協力 ○まちづくりBeppin塾についての勉強会(年2回)								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○それぞれの立場からまちづくりについて真剣に取り組んでいる。 ○持続的な活動と自立に向けた話し合いが必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成25年度予定								
平成24年度と同様に定例会の開催、まちづくり通信「Vif」の発行を行っていく。 また、持続的な活動と自立に向けての勉強会も開催予定。								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[3] コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
青少年活動振興事業	生涯学習課	活動参加者数 12,464人	10,500人	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
公民館や愛護会、青少年育成団体など、行政、地域、家庭、学校が連携し、青少年が新時代の本市の担い手として心身ともに健全に育成されるような様々な体験活動やボランティア活動、交流活動への参加を促進する。									
平成24年度実績									
【事業】 総数：76事業（市民運動会、納涼祭を除く） 【内容】 ①スポーツ・レクリエーション活動（子どもスポーツ大会、クロッケー大会等） ②文化活動（虫送り、門松作り等） ③自然体験活動（野外活動等） ④その他の活動（地域清掃活動、環境美化活動等） 【参加者】 総数：16,304人								決算額	
								151千円	
								実績値	
								16,304人	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
地域の公民館が愛護会等の社会教育関係団体と連携し、青少年の体験活動や世代間交流の事業を行っているが、団体の活動が縮小するなかで、事業内容も低下の傾向にある。このため地域総ぐるみで青少年の育成活動に取り組むための枠組みが必要とされている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
【事業】 総数：86事業 【内容】 ①スポーツレクリエーション活動 ②文化活動（虫送り、しめ飾り作り等） ③自然体験活動（野外活動等） ④その他の活動（地域清掃活動、環境美化活動） 【参加者】 総数：17,060人								予算額	
								203千円	
								目標値	
								170,60人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[4] コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
インターネットによる施設予約の推進	企画情報課 [総務]			①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
体育施設等の公共施設について、インターネットを使って予約や状況の確認が出来るシステムを整備し、利用者の利便性の向上を図るもの									
平成24年度実績									
・システム整備済(平成22年9月) 【空き状況の公開施設】 46施設(総合体育館、丸山公園、石丸公園、三間町運動公園、三間町国民体育館、宮下ふれあい広場、保手公園運動広場、津島勤労者体育センター、第4号南予レクリエーション都市内の施設) 【予約可能施設】 17施設(丸山公園、石丸公園、宮下ふれあい広場、保手公園運動広場内の施設)								決算額	
								—	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
・宇和島市の対象施設の拡大を行う。 ・近隣の市町と連携しシステムの共同利用を検討する。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[4] コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
市役所本庁・支所における空きスペースの有効活用	財政課 [管財]							
事業の概要								
公共施設の開放等によりコミュニティ活動の場の提供に努めます。また、オンラインシステム化の充実に努め、施設を効率的に利用できるよう活動方法を検討するとともに、住民による自主的な管理・運営体制の強化を図ります。								
平成24年度実績								
実績なし。							決算額	
							—	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							—	
事業に対する評価・課題等								
市における空きスペースの活用については、男女問わず地域住民にとって有効に利用してもらえる公共の場となるようにより一層の努力をしていく。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成25年度予定								
予定なし。							予算額	
							—	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	4. 地域社会への男女の参画促進
具体的施策	[4] コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
交流拠点施設の女性の運営参画	商工観光課 [企画情報課]	9人	20人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
宇和島地域及び姉妹都市の農林水産物、加工品等の販売、真珠の展示販売・加工体験、郷土料理レストランにおける宇和島の食文化の普及、米粉パンの製造販売による米消費拡大などによって産業を振興するとともに、イベントによる地域間交流の促進を図り、宇和島市のイメージアップにつなげることを目的とした施設である。この施設において、女性の運営への参画及び雇用を促進しようとするもの。									
平成24年度実績									
平成24年3月の高速道路の宇和島への開通などの恩恵も受け、売上は施設全体で984,356千円、前年対比約107%であった。レジ通過客数においても、1,153,101人を記録し、前年対比110%でレジ通過客数100万人を達成した。フリーマーケット、1周年記念イベント及びきさいやフェスタ パン工房コラボコンテストなど各種イベントを実施し、地域間交流を促進した。 特に、きさいやフェスタ パン工房コラボコンテスト、きさいや広場オリジナルギフト、あこやひめ合同旅弁制作において女性職員が積極的に企画・商品開発を行った。 【女性の参画状況】 運営に関わっている女性の人数:9人(総人数13人)								決算額	
									-
								実績値	
								9人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
女性の感性を生かした商品開発等への参画や運営が行われている。 また、宇和島の食を活かした道の駅弁当では、下灘漁協女性部、企業組合あこやひめ等の女性が活躍している団体とともに積極的な関わりがなされた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
イベント等における女性の参画推進を図りながら、施設運営を行っていく。 【女性の参画状況】 運営に関わっている女性の人数:10人(総人数14人)								予算額	
									-
								目標値	
									-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	5. 市政への関心の高揚
具体的施策	[1] 市民と行政との情報・意識の共有化

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
ホームページへのアクセス件数	総務課 [企画調整]	1,159件/日	3,000件/日	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
市ホームページの充実を図ることにより、市民への行政情報の発信に努める。									
平成24年度実績									
閲覧者数 1,088人/日								決算額	
								-	
								実績値	
								1,088人/日	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
閲覧者数が減少しており、今後の取り組み方法を考える必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
市民がより利用しやすいホームページになるよう努力する。								予算額	
								-	
								目標値	
								1,500人/日	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	5. 市政への関心の高揚
具体的施策	[2] 多様な分野における市民及び民間の参画・協働の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
パブリックコメントを求めた件数	総務課 [企画調整]	4件／年	5件／年	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
市の施策に関する基本的な計画等の立案にあたり、その目的、内容その他必要な事項を公表して、広く市民からの意見を求め、提出された意見等を考慮して意思決定を行うことにより、市の施策形成過程における公平性の確保及び透明性の向上を図るとともに、市民の積極的な市政参加の推進を図る。									
平成24年度実績									
平成24年度 4件								決算額	
								-	
								実績値	
								4件/年	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
市民からの意見が少なく、十分な意見の反映ができていない。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
職員へのパブリックコメント制度の活用を周知する。 ホームページでの周知方法を更に検討する。								予算額	
								-	
								目標値	
								5件/年	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	5. 市政への関心の高揚
具体的施策	[3] ホームページを利用した議会情報の発信

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
議会インターネットライブ中継	議会事務局	年4回		①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
宇和島ケーブルテレビ(株)協力のもと、リアルタイムで議会の様子が見られるようにする。									
平成24年度実績									
3月、6月、9月、12月の本会議を、宇和島ケーブルテレビ(株)の協力のもと、リアルタイムで放送した。								決算額	
								-	
								実績値	
								年4回	
								進捗状況	
5									
事業に対する評価・課題等									
インターネットにより家庭等で議会がリアルタイムで傍聴できることで、より多くの人に情報発信できる。議会に関心を持っていただくために必要なことである。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
平成25年度も実施。								予算額	
								-	
								目標値	
								年4回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進
施策の方向	5. 市政への関心の高揚
具体的施策	[4] 議会への関心の高揚

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
議場を活用したイベント等の開催	議会事務局	—	1回／年	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
議場において、合唱などのミニコンサートや模擬議会など、議場を利用したイベント等を開催することで、広く市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指す。									
平成24年度実績									
実績なし								決算額	
								—	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
広く市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指すことは、議会改革の中でも重要なテーマの一つとなっており、工夫をして取り組んでいく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
予算化していない。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[1] 就業環境の整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
担い手アクションサポート事業(家族経営協定締結支援・認定農業者制度)	農林課							
事業の概要								
農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す。								
平成24年度実績								
家族経営協定締結数 新規 1 合計89家族								決算額
								0千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
経営面や生活面でのルールを文書化することで、新規参加者が経営参画しやすくなった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
今後も家族経営協定締結を推進する。								予算額
								0千円
								目標値

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[1] 就業環境の整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	③新規
商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発	商工観光課						
事業の概要							
会議所・商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。							
平成24年度実績							
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)。						決算額	
						実績値	
						2回	
						進捗状況	
						2	
事業に対する評価・課題等							
現在の中小企業を取り巻く状況は、非常に厳しく推進は難しい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成25年度予定							
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)の継続。						予算額	
						-	
						目標値	
						-	

平成24年度実績の進捗状況		
かなり進んでいる		5
ある程度進んでいる		4
若干進んだと思う		3
あまり進んでいない		2
全く進んでいない		1

男女共同参画の視点での評価		
十分に考慮されている		5
ある程度、考慮されている		4
若干、考慮されている		3
ほとんど考慮されていない		2
全く考慮されていない		1
該当しない		-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[1] 就業環境の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
院内保育所の運営	病院局 (宇和島病院)							
事業の概要								
看護師確保の一環として、看護師が働きやすい環境整備のため、乳児又は幼児を対象に院内保育所を設置、運営している。(定員50人)								
平成24年度実績								
年延利用児童数11,037人、1日平均37.8人								決算額
								52,705千円
								実績値
								1施設
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○看護師不足である現在、病院隣接地に保育所を設置することで、不規則な業務を行っている看護師が安心して業務に従事できる環境が整備されており、看護師の働きやすい環境を確保している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成25年度予定								
育児休暇中の母子を対象とした集いを実施し保護者支援を行うとともに、育児相談を随時受け付けるなど、更なる保育の充実と安全を確保する。								予算額
								50,574千円
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[2] 雇用機会の確保と雇用の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
シルバー人材センター充実支援	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
定年退職者その他の高齢者の就業において、臨時的かつ短期的なもの又はその他軽易な業務の機会を確保し、その就業を援助、または能力の積極的な活用を図るため、シルバー人材センターに対し補助金を交付している。								
平成24年度実績								
事業受託件数：3,064件 就業実人員：377人 就業延人員：26,572人日							決算額	
							13,000千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
高齢者の就業機会の確保や能力の積極的な活用を図るための支援ができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
事業受託件数：3,300件 就業実人員：430人 就業延人員：29,000人日							予算額	
							14,000千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[2] 雇用機会の確保と雇用の促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催)	商工観光課							
事業の概要								
事業拡大を支援し、雇用の受け皿を増やし、人材育成のための各種セミナーを開催し、労働者のスキルアップを図る。また、就職支援事業として、宇和島地域合同就職面接会を開催し、直接的な雇用増加を目指す。								
平成24年度実績								
人材育成メニュー(求職者向けメニュー)セミナー、受講者235人参加。達成率121%。 就職支援事業(合同就職面接会)参加企業82社 参加者94人。達成率85%。 人材育成各種セミナー16回および宇和島地域合同就職面接会1回の開催、43社の参加、329人の参加。達成率108%。就職者37人 達成率137%								決算額
								12,337千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
事業拡大支援セミナー、人材育成各種セミナー、宇和島地域合同就職面接会の開催								予算額
								17,527千円
								目標値
								390人

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[3] 男女雇用機会均等法等について事業所への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	③新規
団体を通じ、農林業従事者への啓発	農林課						
事業の概要							
従来から男社会と考えられていた、農林業の分野において、女性の積極的な進出を図り、男女が共に協力し合ってよりよい職場づくりを行う。							
平成24年度実績							
熟年就農講座や新規就農者支援講座等あらゆる機会において、積極的に女性の参加を呼びかけ、農林業への理解を深めた。						決算額	
						0千円	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
熟年就農講座や新規就農者支援講座に女性の参加が増えたことにより、6次産業化の取組みのための研修会参加や若手女性就農者で活動したりと、女性が積極的に農業の場で活躍する機会を設けることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成25年度予定							
引き続き、あらゆる機会を捉えて、女性の参加を推進していきたい。						予算額	
						0千円	
						目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[3] 男女雇用機会均等法等について事業所への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	③新規
団体を通じ、水産業従事者への啓発	水産課						
事業の概要							
男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など労働に関する各種法律について事業所や団体等への啓発に努めようとするものです。							
平成24年度実績							
漁業協同組合関係団体等へ男女共同参画関係のイベント等の告知を行いました。						決算額	
						-	
						実績値	
						-	
						進捗状況	
						3	
事業に対する評価・課題等							
イベント参加など、協力を得られたが、労働法関係の啓発不足であった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						2	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						2	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成25年度予定							
男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など労働に関する各種法律について事業所や団体等への啓発に努めたい。						予算額	
						-	
						目標値	
						-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な企画と待遇の確保
施策の方向	1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
具体的施策	[10] 市の契約手法の検討

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
入札(見積)参加資格業者登録への反映の検討	財政課 [契約]							
事業の概要								
市が発注する工事や購入する物品等において、契約相手となる企業等の男女共同参画推進への取組状況(男女雇用機会均等法やパートタイム労働法などの遵守やポジティブ・アクション(積極的改善措置)、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進など)の評価について、その可能性を検討します。								
平成24年度実績								
平成25・26年度宇和島市建設業者格付事務取扱要領において、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に規定する育児休業制度を就業規則で定めている建設業に対しては、格付の加点要素とした。							決算額	
							-	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
平成25・26年度の市内工事登録業者135者のうち、「就業規則への育児休業制度」を規定している業者は35者しかいないが、今回加点要素としたことで、次回(平成27・28年度)入札参加資格申請の登録の時には、「就業規則への育児休業制度」を規定する業者の増加が期待できる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成25年度予定								
「次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画」を策定している業者に対しても、次回から格付けの加点要素とすることを引き続き検討する。							予算額	
							-	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	②継続	③新規	●
市職員のセクハラ被害相談への対応のマニュアル化	総務課 [人事]						
事業の概要							
市職員のセクハラ被害相談への適切な対応のため、セクハラ被害相談対応マニュアルを作成するもの。							
平成24年度実績							
人事院の「セクシャル・ハラスメントに関する苦情相談に対応するに当たり留意すべき事項についての指針」等を参考に対応しているが、独自のマニュアルは未作成							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
担当者の育成が必要							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成25年度予定							
相談員に研修を受講させ、マニュアル化に取り組みたい。							予算額
							-
							目標値
							-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	③新規 ●
セクハラ相談窓口設置	総務課 [人事]						
事業の概要							
セクハラ相談窓口を設置し、相談しやすい体制を整える。							
平成24年度実績							
「宇和島市職員のハラスメントの防止等に関する要綱」に基づきセクハラも含めたハラスメント相談窓口を設置している。							決算額
							-
							実績値
							3
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
担当者の育成が必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成25年度予定							
相談窓口における相談体制の充実を図る。							予算額
							-
							目標値
							-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
選挙時の開票作業における女性参画促進	選挙管理委員会	8.4%	10%						
事業の概要									
「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙の開票作業に女性の比率を高めていこうとするものである。									
平成24年度実績									
衆議院議員総選挙 開票事務従事者 118名中女性職員4名（女性の占める割合 3.39%）								決算額	
								実績値	
								3.4%	
								進捗状況	
								1	
事業に対する評価・課題等									
今後も国の選挙執行経費が減額されることが予想されるため、開票事務従事者の増員はますます困難な状況である。従って、女性職員だけを増員していくことは困難な状況となっている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
参議院議員通常選挙及び、市長・市議選挙								予算額	
								—	
								目標値	
								5%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
病院局における各施設へのセクハラ相談窓口	病院局	6箇所	6箇所	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
病院局の各施設(医療行政管理部、3病院、2老健)に、セクシャルハラスメントの被害者を支援するため、相談窓口を設置し情報の提供を行う。									
平成24年度実績									
引き続き各事務局を窓口として対応している。いずれの施設も相談実績はなかった。								決算額	
								—	
								実績値	
								6箇所	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
セクハラ行為防止の啓発								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保
施策の方向	3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
市立宇和島病院の改築に伴う就労環境の整備	病院局 (宇和島病院)								
事業の概要									
従来の労働環境において、施設面で職員に不便、不安等を来たしていた部分につき改善を行い、身体的または精神的な負担の軽減を図ろうとするもの。									
平成24年度実績									
医療従事者への暴行、悪質なクレーマー等に対し、警察官OBを渉外担当職員として雇用し対応している。 平成24年度より1名を増員し、始業時から午後9時30分まで配置することができるようになり、夜間も対応可能になった。								決算額	
								—	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
看護師不足の状況下において、深夜・準夜勤務者に対する就業環境の改善が急がれる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
医療従事者の負担軽減のため、継続して実施する。								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[1] 農林水産業、商工業など自営業における男女共同参画の推進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
家族経営協定締結の支援	農林課	88戸	72戸100戸	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す									
平成24年度実績									
家族経営協定締結数 新規 1 合計89家族								決算額	
								0千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
経営面や生活面でのルールを文書化することで、新規参加者が経営参画しやすくなった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
今後も家族経営協定締結を推進する。								予算額	
								0千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 農業委員会等への参画支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
農業委員への女性の参画促進	農業委員会	3人	2人	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
宇和島市農業委員会農業委員の定数は47人で、公選によるものが40人、土地改良区・共済・農協推薦がそれぞれ1人、議会推薦が4人となっている。これまで女性農業委員が選出されておらず、平成20年10月改選時に議会推薦枠4人のうち2人、平成23年10月改選時に議会推薦枠4人のうち3人の女性委員が誕生した。平成26年の改選時には、公選からも女性委員が選出されるように「男女共同参画社会」について理解を深めていこうとするものである。									
平成24年度実績									
平成24年度実績は農業委員の改選がなかったため実績なし								決算額	
								-	
								実績値	
								-	
								進捗状況	
								-	
事業に対する評価・課題等									
平成26年の改選時には推薦枠だけでなく、公選からも女性委員の立候補を促し「男女共同参画社会」の理解を深めていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
平成25年度は改選予定なし								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[3] 家族経営協定の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
家族経営協定締結の支援	農業委員会	—	35戸100戸	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
宇和島市農業支援センターが開催する家族経営協定締結時に、会長・事務局が出席して、調印式の挨拶・調印の立会人をする。 また、農業者の安心で豊かな老後生活をサポートする農業者年金の加入推進、情報の提供を行なう。									
平成24年度実績									
(本事業の主管課は農林課)								決算額	
								—	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								—	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規
高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業)	企画情報課 [総務]	100%	100%	●				
事業の概要								
宇和島市では、高速なインターネット環境が利用できない地域が広く残されており、これらの地域では、採算性の問題により民間の通信事業者による整備は困難となっていた。それらの地域について、総務省の「次世代ブロードバンド戦略2010」及び「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(IT基本法)」に基づき、高度情報通信ネットワーク環境を整備をおこなったものである。 また、2011年7月の地上デジタル放送への完全移行に伴うテレビの難視聴対策としてケーブルテレビを整備した。								
平成24年度実績								
※平成21年度民間の通信事業者のサービスを含め、市内全域の高速インターネット環境整備は完了した。今後は、宇和島市のサービス地域については、指定管理者により加入促進を行っていく。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							100%	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成25年度予定								
							予算額	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
担い手アクションサポート事業(スキルアップ活動・経営相談・指導相談)	農林課							
事業の概要								
生産技術の向上や農産物・加工品の販売等、女性の農業経営や自営業への参画を促進する。 また、技術・経営向上のための各種研修会や情報提供を行うことにより女性の積極的な農業参画を図るものである。								
平成24年度実績								
女性就農者の6次産業化等先進地視察を始め、税理士による経営・経理相談、熟年・新規就農者支援講座等を開催した。 先進地等視察研修 2件 270千円 経営能力研修(申告研修)7回 201千円 熟年・新規就農者支援講座 12回 59千円							決算額	
							530千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
各種事業を実施し、女性の生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供することができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
積極的に研修会を計画し、視野を広め生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供を図っていきたい。							予算額	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	③新規
担い手アクションサポート事業(担い手支援ワンストップ窓口設置)	農林課						
事業の概要							
農業分野に女性が積極的に進出し男女共同参画を促進する							
平成24年度実績							
生産技術の向上や農産物・加工品の販売等、女性の農業経営や自営業への参画を促進する。 また、技術・経営向上のための各種研修会や情報提供を行うことにより女性の積極的な農業参画を図るものである。						決算額	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
各種事業を実施し、女性の生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供することができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成25年度予定							
積極的に研修会を計画し、視野を広め生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供を図っていきたい。						予算額	
						目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	③新規
農業構造改革対策事業(特産物の開発)	農林課						
事業の概要							
生産技術の向上や農産物・加工品の販売等、女性の農業経営や自営業への参画を促進する。 また、技術・経営向上のための各種研修会や情報提供を行うことにより女性の積極的な農業参画を図るものである。							
平成24年度実績							
女性就農者・宇和島市生活研究協議会などの先進地視察を始め、税理士による経営・経理相談、熟年・新規就農者支援講座などの開催により、女性の生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供を行うことができた。						決算額	
						0千円	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
女性就農者・家族経営締結者、宇和島市生活研究協議会などによる先進地視察、交流会・青色申告会などを実施した。その研修効果や問題点などを探り、今後の活動に役立てている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成25年度予定							
積極的に研修会に参加し、生産技術の向上や農作物・加工品の開発や販売意欲の向上を図り、情報提供を行っていきたい。						予算額	
						0千円	
						目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	●	③新規
宇和島市生活研究協議会の活動支援	農林課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
宇和島市の農山漁村において、農漁家生活の研究と農業改良を学習実践している女性の自主的なグループが、情報や技術等を研究しあい、グループの健全な発展を図っている。								
平成24年度実績								
研修会の開催や地産地消活動、食文化の普及活動等を行った。 主な活動として、 ・先進地視察研修 ・地域食材活用研修会 ・宇和島市、鬼北地区生活研究協議会交流大会 ・えひめ食文化普及講座 4回 ・愛媛県ふるさとづくり推進大会参加							決算額	
							160千円	
							実績値	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
各単位のグループ活動は自主的に行われている。 今後は、メンバーの高齢化とともに活動が衰退していかないように、新たな会員の拡大と積極的な協議会活動ができるよう指導していきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
昨年同様の活動を展開する。							予算額	
							370千円	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	●	③新規
宇和島地域ブランド化事業	商工観光課							
事業の概要								
真珠を核とした宇和島地域のブランド化に取り組み、地域産業の活性化と交流人口の拡大を目指す。								
平成24年度実績								
女性団体の有志による、企業組合が継続運営されている。 企業組合が提供しているご当地エステ「パールエステ」が大手旅行代理店からも高い評価を得ており、観光客誘致のひとつのツールとして大変注目されており、事業継続が充実している。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
							-	
事業に対する評価・課題等								
女性が中心となり地域の活性化に取り組む中で、企業組合を立ち上げ起業したことは大きな成果である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
パールエステの普及拡大を図るため、昨年度に引き続きパールエステの担い手育成に努めるほか、ホテルや旅館等と連携した旅行商品造成の土台づくりに取り組むとともに、新たな雇用の創出を目指す。							予算額	
							0千円	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	③新規
有用貝類・海藻類試験研究事業(特産品の開発)	水産課						
事業の概要							
生産技術向上や水産加工品の販売など、女性の自営業への参画促進するため、技術に関する学習会開催や情報提供を行うものである。							
平成24年度実績							
トサカノリ養殖 普及技術指導 イワガキ養殖 普及技術指導						決算額	
						-	
						実績値	
						-	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
生産者がある程度の収益を上げているが、さらなる技術品質の向上を目指す必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成25年度予定							
生産技術向上や水産加工品の販売など、女性の自営業への参画を促進するため、技術に関する学習会開催や情報提供を行いたい。						予算額	
						-	
						目標値	
						-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[4] 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
農林漁業振興事業資金利子補給事業(経営体制の強化)	水産課			①充実	②継続	●	③新規	
事業の概要								
農林漁業者等に対し、低金利の融資を円滑にする措置を講じて農林漁業の経営の近代化と合理化等を図り、その振興に資する。								
平成24年度実績								
平成24年度 農林漁業振興事業資金利子補給金 近代化 33,029,878円 他 5 事業 計 67,529,050円								決算額
								67,529千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
景気の低迷は今後とも長期化することが予想され、漁業を取り巻く環境は厳しい状況にあるため、資金の返済方法(回数、金利)等の変更を要すると思われる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成25年度予定								
農林漁業者等に対し、低金利の融資を円滑にする措置を講じて農林漁業の経営の近代化と合理化等を図り、その振興に資する。								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[6] 都市と交流・共生する農山漁村づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
学校給食における地元水産物の使用食数の拡大(魚食普及及び食育推進事業)	水産課	-	100,000食	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
地元産の魚導入による地産地消の推進(農産漁村の活性化)しようとするものである。									
平成24年度実績									
平成20年 30,178食 平成21年 18,114食 平成22年 実績調査未実施 平成23年 実績調査未実施 平成24年 実績調査未実施 平成22年度より、学校給食における地元産の魚の導入実績調査は実施していないが、地産地消の推進を啓発するとともに、魚食普及推進協議会活動(おさかなピッチピチパーティー等)の中で、子どもを通じて家庭への普及啓蒙を図った。								決算額	-
								実績値	-
								進捗状況	-
事業に対する評価・課題等									
地元産の魚は値段が高いため、あまり使えない。調理場の関係で調理方法が限定されるため、回数が増やせない。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
地産地消の推進を図りたい。								予算額	-
								目標値	
								100,000食	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
具体的施策	[6] 都市と交流・共生する農山漁村づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	●	③新規
シーカヤック関連整備事業	商工観光課 [水産課]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
シーカヤックによる交流人口の拡大を目指す。								
平成24年度実績								
宇和島シーカヤッククラブを主体とし、講習会や親子ふれあい体験教室等を開催。 緊急雇用を活用し、職員2名を雇用。							決算額	
							3,392千円	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
利用者は女性も多いが、クラブの活動メンバーに女性がない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成25年度予定								
宇和島シーカヤッククラブを主体とし、講習会や親子ふれあい体験教室等を開催。							予算額	
							-	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援
具体的施策	[1] 起業活動の支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
アグリビジネス講座(グリーンツーリズム体験・パソコン講座・お菓子作り講座等)	農林課						
事業の概要							
農山漁村の女性の知識・技術の向上を図り、商品の研究・開発・販売など起業に向けた活動を支援する							
平成24年度実績							
各地区とのネットワーク活動の交換を行うことによって、地域を越えた起業家との交流を行い、起業活動の発展と活力あふれる農山漁村の創造に向けた活動を展開した。						決算額	
						0千円	
						実績値	
						進捗状況	
事業に対する評価・課題等							
今後も、情報提供や各地区とのネットワーク活動の交換を行うことによって、地域を越えた起業家との交流を行い、起業活動の発展と活力あふれる農山漁村の創造に向けた活動を展開していく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成25年度予定							
新しい起業家の育成と知識・技術の向上を図り、商品の研究・開発・販売など起業に向けた活動を展開していきたい。						予算額	
						0千円	
						目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援
具体的施策	[2] 女性の職業能力開発のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
担い手アクションサポート事業(スキルアップ活動)	農林課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
生産技術の向上や農産物・加工品の販売等、女性の農業経営や自営業への参画を促進する。 また、技術・経営向上のための各種研修会や情報提供を行うことにより女性の積極的な農業参画を図るものである。								
平成24年度実績								
女性就農者の6次産業化等先進地視察を始め、税理士による経営・経理相談、熟年・新規就農者支援講座等を開催した。 先進地等視察研修 2件 270千円 経営能力研修(申告研修)7回 201千円 熟年・新規就農者支援講座 12回 59千円							決算額	
							530千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
各種事業を実施し、女性の生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供することができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
積極的に研修会を計画し、視野を広め生産技術・販売意欲の向上を図り、情報提供を図っていきたい。							予算額	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援
具体的施策	[3] 起業家育成のための情報提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
熟年就農講座 (新規就農支援講座)	農林課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
高齢者や新規就農者等の自発的な農業への取り組みを支援する									
平成24年度実績									
開催回数:12回 延べ参加者数:137人 主な講習内容:野菜等の栽培管理、農業機械の実技講習など								決算額	
								59千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
女性が積極的に農作業に取り組み、農業を理解しようと毎年多くの女性が参加している。講義内容がマンネリ化しないよう参加者の意見を取り入れながら行っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
若い女性の受講者が増加したため、就農講座の充実とともに若手女性就農者の育成に努めたい。								予算額	
								65千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立
施策の方向	2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援
具体的施策	[4] 再就職への支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
関係機関との連携	商工観光課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
求人情報の提供を受け、市HPでの広報を行う。									
平成24年度実績									
人材育成メニュー(求職者向けメニュー)セミナー、受講者333人参加。達成率280%。 就職支援事業(合同就職面接会)参加企業82社 参加者260人。達成率260%。 人材育成各種セミナー22回および宇和島地域合同就職面接会2回の開催、42社の参加、達成率168%。593人の参加。達成率182%。就職者85人 達成率167%								決算額	
								11,946千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
事業拡大支援セミナー、人材育成各種セミナー、宇和島地域合同就職面接会の開催。								予算額	
								17,527千円	
								目標値	
								390人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	4 国際交流・協力の推進
施策の方向	1. 国際交流の充実及び国際感覚の向上
具体的施策	[1] 国際ボランティア養成講座の開催

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
中国象山県との交流事業(中国語講座開催事業)	総務課 [企画調整]	66人 (96講座)	40人	①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
中国象山県との友好交流の一環として、宇和島市国際交流員を講師とし、週1回公民館で開催するものであり、市民が語学を学ぶことにより相互理解や友好親善が推進されることを目的としている。								
平成24年度実績								
中国語講座 講師 王 姿妍 週1回(木)19:00~21:00 吉田公民館(12月からは吉田支所)で開催 開催実日数40日(初級・中級の2講座実施) 受講登録者数 59名(男24名、女35名) 延べ受講者数1,218名							決算額	
							12千円	
							実績値	
							59名	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
参加者の多くは中国交流に大変熱心であり、象山県からの技術研修生と積極的な交流を図る等活発に活動している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
受講生が継続的且つ楽しく語学を学べるように、テキストのみでなく、絵付きカードの使用や象山県研修生等を参加させて、生きた中国語を実感させる。							予算額	
							12千円	
							目標値	
							60名	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	4 国際交流・協力の推進
施策の方向	1. 国際交流の充実及び国際感覚の向上
具体的施策	[2] 国際交流の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
ハワイ交流事業	総務課 [企画調整]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
国際交流団体や住民との連携を深め、国際化に対応した地域づくりの活性化を図る。								
愛媛とハワイの子供たちが一堂に会し、交流の意味を込めた野球大会を隔年でハワイ、愛媛県(松山・宇和島)で開催している。えひめ丸の不幸な事故を風化させることなく後世に伝えとともに、姉妹都市としての友好関係をより深める目的で開催している。								
平成24年度実績								
愛媛ハワイ交流少年野球大会 平成24年度:愛媛県で開催 宇和島市と松山市を会場に、小学生、中学生、高校生の部で交流野球大会を実施した。宇和島市においては、歓迎レセプションを市役所2階大会議室にて開催し、総勢175名の参加となった。 えひめ丸事故を機にハワイ州ホノルル市との姉妹提携を行い、交流野球大会は今回で第11回目となるもので、今後の更なる交流促進のために継続していく必要があるものと思われる。								決算額
								508千円
								実績値
								1回
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
関係者の多数の参加があり、盛大に開催できた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
平成25年度はハワイ州での開催予定のため、交流少年野球大会レセプションへの予算措置は不要。 愛媛県ハワイ州姉妹提携10周年記念事業にあたり、宇和島市の参加、協力等も検討する。								予算額
								-
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり
推進方策	4 国際交流・協力の推進
施策の方向	1. 国際交流の充実及び国際感覚の向上
具体的施策	[2] 国際交流の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
日韓友好支援事業	生涯学習課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
【目的】 国際感覚を持った有為な人材育成に寄与するとともに、国際親善、国際交流を推進する。								
【内容】 宇和島市内の小学生と、韓国浦項市の小学生がお互いの国を訪問して、ホームステイや交歓会を行うことにより相互理解と日韓親善を深める。								
平成24年度実績								
【日韓友好「少年少女の翼」派遣事業（日本から韓国へ） 訪問日程 8月21日（火）～8月24日（金） 訪問先 韓国 浦項市 参加者 市内小学生32人（男9人、女子23人）、引率者8人							決算額	
							2,800千円	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
国際情勢や日韓の外交上の影響を受けやすく、突然の中止を余儀なくされる場合がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
中止							予算額	
							-	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[2] 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課 [人事]	11日1時間	職員1人平均 年10日以上	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
市職員の年次有給休暇の取得を促進し、職業生活と家庭・地域生活のバランスの取れた、健康的な生活を支援する。									
平成24年度実績									
平成24年1月～12月までの年次有給休暇取得日数 平均10.5日(病院局職員は除く)								決算額	
								-	
								実績値	
								10.5日	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
年次有給休暇の取得について、目標値である平均年10日以上に達していない所属課が少数ある。また、病院局においては、業務多忙のうえ、慢性的な職員不足により、年次有給休暇が取得できない状況が続いている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
各所属課において年間10日以上 の年次有給休暇が取得できるよう推進する。								予算額	
								-	
								目標値	
								10日	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[2] 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課 [人事]							
事業の概要								
休業・休暇制度について国に準じて制度を整備するとともに、制度の周知を行う。								
平成24年度実績								
平成23年度に創設した嘱託職員育児休業制度により、平成24年度の嘱託職員の育児休業取得者は計4名であった。							決算額	
							-	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
正規職員に係る特別休暇は国に準拠して制度を整備することとなるが、非正規職員に関しては市の財政状況や他市の状況を考慮しながら対応することとなっている。 法律や国の制度改正が伴った場合は、非正規職員の勤務条件も速やかに改善に努める。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成25年度予定								
国に準じて制度の整備に努める。							予算額	
							-	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[3] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
短時間勤務制度の導入	総務課 [人事]	2人		①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
平成20年度より、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、職員が職務を完全に離れることなく育児を行うことができるよう、正職員に育児のための短期間勤務制度を導入した。 勤務形態: 3時間55分/日×週5日(週19時間35分)、4時間55分/日×週5日(週24時間35分)、 7時間45分/日×週3日(週23時間15分)、7時間45分/日×週2日+3時間55分/日×週1日(週19時間25分)									
平成24年度実績									
平成24年度の育児短時間勤務者:2名								決算額	
								-	
								実績値	
								-	
								進捗状況	
								-	
事業に対する評価・課題等									
代替職員の確保及び仕事の引き継ぎに課題がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
育児短時間勤務の請求があった場合には、代替職員を確保することにより許可できる環境づくりに努める。								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	1. 働き方の見直しの促進
具体的施策	[3] 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
市職員の時間外勤務時間の削減	総務課 [人事]	—	年間上限 360時間	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市職員の時間外勤務時間の削減を行う。									
平成24年度実績									
○平成24年度実績 139,837時間(病院117,669時間 水道3,807時間 その他18,361時間)前年度比 10,787時間増 年間360時間超過職員 78人(病院73人 水道3人 その他2人) 前年度比 14人増								決算額	
								—	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
平成23年度実績は、129,050時間(病院108,586時間 水道2,951時間 その他17,513時間)で、24年度には総時間数で10,787時間、8.4%増加する結果となった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
今後も業務の効率化に努め、時間外勤務時間数の減少に努めたい。								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
保育所・子育て支援センター事業	福祉課 [子育て支援]	5箇所		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
保育所(園)・地域子育て支援センターなどの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。									
平成24年度実績									
地域子育て支援拠点事業を5法人保育園で実施								決算額	
								37,455千円	
								実績値	
								5箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
特になし									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
前年と同様								予算額	
								37,455千円	
								目標値	
								5箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	●	②継続		③新規	
幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	教育総務課	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
保育所(園)・地域子育て支援センター・幼稚園・小学校などの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。									
平成24年度実績									
○参観日・家族参観日・祖父母参観日等を通して、父親の参加呼びかけをしたり、幼稚園の取組や指導内容等の理解を図ったりする。 ○参観日・子育て学習会等を活用し、幼稚園への理解と協力を図る。 ○参観日・家族参観日などを通して園の取組や指導内容の理解を図ってきた。 ○家族参観日・パパさん弁当日・諸行事への父親の参加を促してきた。 ○家族参観日(父親中心)、園内運動会、おゆうぎ会等園行事への参加 ○家庭通信や保育参観・園行事への参加などを通して、子育てに関心を示してもらう。								決算額	
								—	
								実績値	
								100%	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
○保護者との連携を十分にとる。保護者の幼稚園教育の理解と父親の子育てへの積極的な参加を図る。 ○参観日や諸行事等を通して、感想や評価などを参考に幼児教育への理解を図る。 ○父親が行事や園児の送迎に積極的に関与している状況があり、さらに家族が参加しやすい学習会や行事などを検討する。 ○地域からもあるが、園行事やPTA活動に父親の積極的な参加協力を得ることができた。 ○子育てに対する意識が高まり、母親に協力する父親が増えてきた。また、奉仕作業などへの父親の参加も増えてきている。 ○父親の参加も増えてきている。子育てに関心をもち、幼児教育への理解推進を図る。 ○園行事は、ほとんどの家庭が協力的であり、父親の参加も多い。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
○父親参加の家族参観日等を計画し、意識の啓発をする。 ○参観日や行事などを通して父親参加の保育活動を充実させ、男女共同参画による子育ての楽しさを伝える。 ○園行事や参観日、園便りやクラス便りなどを利用し、保護者に意識啓発していく。 ○今後も、子育てに関する学習会やPTA活動の精選、保護者が参加しやすい工夫をする。 ○家族参観日・園行事を通して意識啓発 ○親子遠足・家族参観日・夕涼み会・運動会など								予算額	
								—	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[2] 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	●	②継続		③新規	
おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	73%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
父親の子育て参加に対する意識啓発の促進。 学校行事、PTA活動等、学校教育活動への父親参加の呼びかけ。 よりよい子育てを目指しての研修啓発活動の実施。									
平成24年度実績									
PTA球技大会、親子奉仕活動、運動会・体育祭の準備や種目参加に父親の参加が増えた。 家族参観日、親子球技大会の実施。 校内環境整備等さまざまな行事の中で、児童が家族と触れ合う機会を設けた。 父親がPTA行事を中心に、積極的に活動に参加できた。 見守り隊活動を行った。								決算額	
								実績値	
								77%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
家族参観日や各校内体育大会において、父親の参加が多く見られた。 校内環境整備においては、積極的に作業に取り組む父親の姿が多く見られた。 関係諸機関・諸団体との連絡調整がうまくいき、協力体制ができています。 家族が参加する行事は、母親が中心になることが多いので、父親のネットワークを広げていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
各種通信、ホームページを利用して、父親の積極的な参加を取り上げ、男女参画の重要性を発信していく。 保護者の意識を高め、教育活動やPTA活動に父親の参加を呼びかける。 児童生徒・保護者を対象とした講演会の実施。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援
施策の方向	2. 家庭生活における男女共同参画の推進
具体的施策	[3] 男性の家事・育児等への参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
両親学級	保険健康課	5講座		①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とするものである。									
平成24年度実績									
【パパママスクール】 (対象) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター(年5回:日曜日3回夜間2回) (内容) 妊娠中と産後のからだの変化・家族計画の講話・お父さんの妊婦体験、赤ちゃんのお風呂の入れ方実習(沐浴) (従事者) 保健師								決算額	
								201千円	
								実績値	
								5講座	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
・パパママスクールは日曜・夜間の開催で受講者も多く参加者の満足度も高かった。 ・クッキングは日曜開催に夫同伴での参加があり、夫婦の方が参加しやすいという声があった。 ・教室に参加した夫の95.9%が「教室に参加して育児・家事に協力しようと思った」と答えており、妊娠中の家事や出産後の育児協力等の意識付けができています。 ・マタニティスクール、クッキングは参加者が少ない、教室の持ち方を見直し、より多くの妊婦とその配偶者が参加しやすいプログラムを検討したい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
・教室の持ち方、内容を検討し、利用しやすいプログラムとする。								予算額	
								16千円	
								目標値	
								5講座	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[1] 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実		②継続	●	③新規
市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課 [人事]							
事業の概要								
市職員の仕事と子育てについて相談を受ける窓口を設置し、仕事と子育ての両立ができるよう職員のサポートを行うもの。								
平成24年度実績								
総務課人事係で相談を受ける体制となっており、産前休暇願申請の際に個別に相談を受けることとしている。								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
職員が気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛けたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成25年度予定								
継続して、気軽に相談できる雰囲気づくりに努める。								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[1] 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
市職員の育児休業等取得率の向上 (少子化・子育て支援)	総務課 [人事]	男性0% 女性100%	男性10% 女性100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
市職員が育児休業を取得しやすい職場環境を整えるとともに、男性職員の取得を促進していく。									
平成24年度実績									
○ 平成24年度中に新たに育児休業が取得可能になった職員数と取得実績 対象者 男性17人 女性24人 取得者数 男性0人(0%) 女性24人(100%) ○ 育児短時間勤務取得者 女性1人									決算額
									-
									実績値
									男性0% 女性100%
									進捗状況
3									
事業に対する評価・課題等									
平成24年度実績として、女性の取得率100%に対し、男性の取得率0%であった。さらに育児休業制度及び育児短時間勤務制度の周知を行うとともに、男性職員の育児休業取得を促進する。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									1
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									2
平成25年度予定									
職員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに心がけ、男性職員の育児休業取得を促進する。									予算額
									-
									目標値
									男性2% 女性100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[2] 子ども看護休暇制度の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課 [人事]	4人		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
「子の看護のための休暇」は、職員が負傷又は病気の小学校就学の始期に達するまでの子の看護を行なう場合で、その勤務しないことが相当と認められるときを対象とする特別休暇で、1年において5日(2人以上は10日)の範囲内で認められる。 子どもの看護休暇等の子育てを支援する特別休暇制度の周知を行い、取得の促進を図る。									
平成24年度実績									
平成24年度 この看護休暇取得 4人 10日0時間（うち男性職員3人）								決算額	
								-	
								実績値	
								4	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
制度の周知を行う。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
男性職員の取得がさらに促進するため、制度の周知を図る。								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[3] 男性の育児休業取得に向けた意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
「えひめの保育」や各種情報誌など、あらゆる機会を活用し、男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う。								
平成24年度実績								
「えひめの保育」や各種情報誌などを保育所に配布している。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
特になし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
前年度同様							予算額	
							0千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[4] 育児支援サービスの利用促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
保育サービスネットワーク事業	福祉課 [子育て支援]			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
各種保育サービスや地域支援体制など支援サービスや制度について周知に努め、公的サービスの利用を促進します。								
平成24年度実績								
「宇和島市保育サービスネットワーク」としてホームページを開設しており、随時更新を行っている。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
保育所や子育て支援サービスの内容など多岐に渡って掲載しており、かなり充実していると思われる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
前年度と同様							予算額	
							0千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[5] 保育サービス総合連絡調整会議の開催

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
保育サービス総合連絡調整会議の開催	福祉課 [子育て支援]							
事業の概要								
様々な保育ニーズに対応したサービスを提供するため、保育サービス総合連絡調整会議を開催し、地域の保育施設や保育資源を整理し、それらが効果的に活用できるよう調整を行う。								
平成24年度実績								
実施なし								決算額
								0千円
								実績値
								0回
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
特になし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成25年度予定								
開催予定								予算額
								—
								目標値
								1回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[6] 延長保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
延長保育の充実	福祉課 [子育て支援]	6箇所	7箇所	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
開園時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育を充実する。									
平成24年度実績									
法人立保育園6園で実施								決算額	
								35,328千円	
								実績値	
								6箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
開園時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育を充実した。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施する。								予算額	
								35,328千円	
								目標値	
								6箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[7] 休日保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
休日保育の充実	福祉課 [子育て支援]	1箇所		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
保護者の日曜・祝日の勤務などの理由によって保育ができない場合の対応を充実します。									
平成24年度実績									
法人立保育園1園において実施								決算額	
								1,331千円	
								実績値	
								1箇所	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
日曜・祝日に保育が必要な人に対しては十分な対応が出来たが、今後の利用促進のため更なる啓発は必要。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
利用があるため、当該保育園の運営状況及び国の基準等を勘案して継続。								予算額	
								1,335千円	
								目標値	
								1箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[8] 特定保育の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
特定保育の実施	福祉課 [子育て支援]	1箇所	1箇所(H21)	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
就労形態等の多様化に伴い、家庭での保育が一時的に困難となる場合など、様々な保育ニーズに対応するため、週2・3回程度、また、午前か午後のみなどの柔軟な保育事業を実施する。									
平成24年度実績									
法人立保育園1園において実施。								決算額	
								270千円	
								実績値	
								1箇所	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
週2、3回程度、午前或いは午後のみなどの様々な保育ニーズに対応しているが、利用促進のための啓発は必要。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
前年度と同様。								予算額	
								270千円	
								目標値	
								1箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[9] 病後児保育の充実(施設型)

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
病後児保育の充実(施設型)	福祉課 [子育て支援]	1箇所	2箇所(H21)	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
現在、実施されている病後児保育に対して支援を行い、保護者の就労などにより、病気回復期に家庭での保育が困難な乳幼児の保育を充実する。									
平成24年度実績									
こおり小児科にて実施。								決算額	
								5,740千円	
								実績値	
								1箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
保護者の就労などにより、病気回復期に家庭での保育が困難な乳幼児の保育に対応できた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施								予算額	
								10,300千円	
								目標値	
								1箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[11] 一時保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
一時保育の充実	福祉課 [子育て支援]	6箇所	7箇所	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応するため、また、保護者の心理的・肉体的負担の解消を図るためにも一時保育を充実する。									
平成24年度実績									
法人立保育園6園において実施								決算額	
								7,200千円	
								実績値	
								6箇所	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応出来た。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施								予算額	
								8,100千円	
								目標値	
								6箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[13] 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
学童保育の充実	福祉課 [子育て支援]	9箇所	10箇所	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
地域の実情に合わせて子育て支援を充実させるため、小学生の放課後の居場所を確保する放課後児童プラン(放課後児童クラブ)を充実する。(対象者1～3年生)									
平成24年度実績									
放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ 民設民営 5クラブ を開設。 児童者数 319人								決算額	
								25,898千円	
								実績値	
								9箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
現在の9クラブで対応できているが、平成27年度から開始される子ども・子育て支援制度を視野に入れた対応が求められている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ 民設民営 5クラブ を開設 児童者数 350人								予算額	
								25,090千円	
								目標値	
								9箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[13] 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	10箇所	6箇所	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。									
平成24年度実績									
【宇和津小学校】 ①実施日数:188日 ②参加児童(平均):5.2人/回 【鶴島公民館】 ①実施日数:40日 ②参加児童(平均):22.3人/回 【天神公民館】 ①実施日数:9日 ②参加児童(平均):21.3人/回 【和霊公民館】 ①実施日数:11日 ②参加児童(平均):15.1人/回 【高光公民館】 ①実施日数:187日 ②参加児童(平均):8.9人/回 【住吉小学校】 ①実施日数:184日 ②参加児童(平均):8.5人/回 【三間公民館他】 ①実施日数:186日 ②参加児童(平均):11.8人/回 【二名コミュニティセンター】 ①実施日数:187日 ②参加児童(平均):6.9人/回 【成妙小学校】 ①実施日数:185日 ②参加児童(平均):7.7人/回 【畑地コミュニティセンター】 ①実施日数:190日 ②参加児童(平均):6人/回								決算額	
								9,119千円	
								実績値	
								10箇所	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
平成22年度から2箇所増え、合計10箇所での実施している。学校日の開催を基本としている7教室については、待機児童に対する放課後対策事業として一定の評価ができる。しかし、公民館で不定期に開催している教室については貸館の都合上実施回数に限りがあり、共働き家庭の増加等、学童保育の普及を求める保護者のニーズに対応できていない。また、長期休業期間中や土曜日等の学校休業日への対応も、今後の課題となっている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
【宇和津小学校】 実施日数:190日 【鶴島公民館】 実施日数:40日 【天神公民館】 実施日数:13日 【和霊公民館】 実施日数:10日 【高光公民館】 実施日数:190日 【住吉小学校】 実施日数:190日 【三間公民館他】 実施日数:190日 【二名コミュニティセンター】 実施日数:188日 【成妙小学校】 実施日数:188日 【畑地コミュニティセンター】 実施日数:191日 【基幹集落センター他】 実施日数:76日								予算額	
								12,383千円	
								目標値	
								11箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[14] 地域子育て支援センター事業への支援充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
地域子育て支援センター事業	福祉課 [子育て支援]	5箇所	5箇所	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
地域子育て支援センターを設置し、保護者の育児相談、保育サービスの利用相談等に対対応できる体制を整備する。									
平成24年度実績									
地域子育て支援拠点事業を法人立保育園5園で実施するとともに、他の保育所や公民館などでも出張開催している。								決算額	
								37,455千円	
								実績値	
								5箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
充実して実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施。								予算額	
								37,455千円	
								目標値	
								5箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[16] ファミリー・サポート・センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
ファミリー・サポート・センター事業	福祉課 [子育て支援]	1箇所	1箇所(H21)	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
子育て中の保護者が急な仕事・用事により、子どもの世話ができないとき、一時的に地域住民が子育ての手伝いをおこなう。									
平成24年度実績									
平成22年5月より開設し実施している。 会員登録数(平成25年3月31日現在) 利用会員 150人 サポート会員 85人 両方会員 14人 計 249人								決算額	
								1,935千円	
								実績値	
								1箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
平成23年度は525件に対し、平成24年度は713件と利用者数が増えている。 事業開始から3年が経過し、サービスが定着してきている。今後は、サポート会員を継続的に確保することが課題となってきた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
ファミリー・サポート・センター説明会及び養成講習会を休日に実施することにより、サポート会員の確保に努める。								予算額	
								2,309千円	
								目標値	
								1箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[19] 乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
子ども手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成と行い、乳幼児、児童を養育している家庭の福祉の増進を図る。									
平成24年度実績									
平成24年4月より、市単独事業として小学生における入院費用の無料化を実施 子ども手当・児童手当の支給 1,189,935千円 乳幼児医療費の助成 138,286千円 児童医療費の助成 3,347千円								決算額	
								1,331,568千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
国、県の施策に基づき実施									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
平成25年4月より、児童医療費の助成範囲を小学生から中学生卒業まで拡充する。								予算額	
国、県の施策に基づき実施 児童手当の支給 1,200,000千円 乳幼児医療の負担 140,000千円								1,350,000千円	
市単独事業で実施 児童医療の負担 10,000千円								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[20] ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
児童扶養手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成を行い、母子家庭等の福祉の向上を増進をはかる。									
平成24年度実績									
児童扶養手当の交付 474,157千円 母子家庭医療費の助成 77,778千円								決算額	
								551,935千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施 児童扶養手当 480,000千円 母子家庭医療の負担 80,000千円								予算額	
								560,000千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[21] ひとり親家庭への相談・支援活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
家庭・児童相談室(相談員3人)	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
ひとり親家庭に対して、民生児童委員、主任児童委員等との連携を図りながら、生活一般及び自立生活に必要な相談・支援活動を充実させていく。								
平成24年度実績								
1名の母子自立支援員を配置し、母子家庭より相談を受けたり、小口資金や福祉資金の貸付けなど支援活動を実施している。							決算額	
							1,796千円	
							実績値	
							367件	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
ハローワークと連携し児童扶養手当手当支給者に対し就労支援を実施 8人を支援し6人が就労								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
前年度と同様に実施							予算額	
							1,796千円	
							目標値	
							350件	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[22] ひとり親家庭への就労支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
母子自立支援事業	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
母子家庭の社会的、経済的自立を推進していくため、国や県と連携を取りながら推進する。									
平成24年度実績									
自立支援プログラム策定事業 1件 高等技能訓練促進費 9人 12,074千円								決算額	
								12,074千円	
								実績値	
								9人	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
国における制度改革を踏まえながら、事業を実施していく。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
国の制度改革に伴い、自立支援教育訓練費及び高等技能訓練促進費の助成範囲が父子家庭の父にも拡充されることから、市も同様な取り扱いを実施する。 自立支援教育訓練給付金 40千円 高等技能訓練促進費 8,400千円								予算額	
								8,440千円	
								目標値	
								8人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[23] 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
子育て支援広報啓発事業	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
なし									
平成24年度実績									
								決算額	
								実績値	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[23] 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	78%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
生命の尊さや親となる喜びを学ぶ機会の充実・子育てに喜びを感じる社会づくり。 自他の生命尊重の大切さを学校・家庭が共有。 社会全体で子育てを支える必要性などについての啓発活動の推進。 生命尊重を基盤とした教育の実施。									
平成24年度実績									
民生児童委員や、主任児童委員と連携した児童生徒の健全育成ができた。 交通安全教室や薬物乱用防止教室による、警察や関係機関との連携ができた。 総合的な学習の時間において、テーマを「共生」とし、福祉問題を取り上げ、各種講座を開設し、関係機関の協力を得て、学習の機会を充実させた。 学校・学級通信・保健室便りを通して、命の大切さを説く内容を掲載した。 性教育年間指導計画に沿って、学習指導を展開した。								決算額	
								実績値	
								83%	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
各行事に地域の協力も得られ、感謝の気持ちについても指導のよい機会となっている。 多くの保護者の学校への理解・関心は深まって来ている。 各家庭で独自の子育て観があり、子育ての悩みなどを共有することが困難な点もある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
地域の自主防災組織と連携した防災訓練の実施。 人権感覚の高揚・生命尊重をテーマにした講演の実施。 定期的な各種通信の発行と、ホームページの充実による啓発活動の活性化。 公民館主催の事業に積極的に関わり、家庭・地域との連携を深め、あらゆる機会を通して命の尊さを訴える。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[24] 子育てを支援する環境整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	21%	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
交通量が多く、通学路に指定されている路線において、張出歩道を設置し、歩行者にやさしい道造りをするもの。									
平成24年度実績									
・曙町弁天町線(曙町)に点字ブロックを約80m設置し、歩行者の安全確保を図った他、市内各所で全長約70m間の歩道の切り下げを実施した。 ・市内小学校の通学路緊急合同点検を実施し、危険箇所については平成25年度より対策工事を実施予定。								決算額	
								870千円	
								実績値	
								21%	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
近年の財政状況に対して、市内の補修箇所の増加により予算確保が困難になっている。しかしながら、交通弱者に対して最優先の道造りを行っていかねばならないと考えている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
歩行者にとって危険な箇所について、市民からの要望によりその都度補修を行う予定である。 また、通学路緊急合同点検の結果を踏まえ、危険箇所について対策工事を実施予定(市道8路線)。								予算額	
								8,800千円	
								目標値	
								21%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[24] 子育てを支援する環境整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課	公園1箇所		①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
出入口の段差解消やスロープの設置等により、高齢者や障がい者、ベビーカーを含む子ども連れの人などに優しい公園造りを目指すもの									
平成24年度実績									
○天赦公園・・・多目的トイレの設置								決算額	
								15,066千円	
								実績値	
								1箇所	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
子どもに配慮したトイレ整備を行うことができた。しかしながらまだ改修が必要と思われる小規模公園が多数あることから、財政措置を含めた年次改修計画の策定が必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								2	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								－	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								－	
平成25年度予定									
○市内公園・・・小規模公園を含めた既存施設の調査・改修								予算額	
								－	
								目標値	
								1箇所以上	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[24] 子育てを支援する環境整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	56戸	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
少子高齢社会に対応するため公営住宅等整備事業により、公営住宅のバリアフリー化を推進する。									
平成24年度実績									
なし(H19年度中に全56戸改修済)								決算額	
								実績値	
								目標値達成済	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
未改修の公営住宅については、公営住宅等長寿命化計画に基づいて計画的にバリアフリー化を進めていく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								－	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								－	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								－	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								－	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								－	
平成25年度予定									
なし								予算額	
								－	
								目標値	
								－	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[25] 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
保育所地域交流事業	福祉課 [子育て支援]	18箇所		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進する。									
平成24年度実績									
公立12園、法人6園で実施								決算額	
								1,649千円	
								実績値	
								18箇所	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
世代間の交流を促進することができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
公立12園 法人6園で実施								予算額	
								1,709千円	
								目標値	
								18箇所	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[25] 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
幼稚園における地域交流	教育総務課	100%		①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進します。								
平成24年度実績								
○地域の老人クラブや小学校、公民館等との連携や交流を図った。 ○公民館・地域の高齢者、また、小・中・高等学校との様々な交流や連携を図ってきた。 ○交流活動の継続と内容の充実。 ○中高生の職場体験学習の受け入れ、小学校・未就園児との交流活動、高齢者福祉施設訪問など、様々な世代の人達との交流を行った。 ○中高生による体験学習での交流・高齢者や地域、小学校との連携・交流活動を行った。 ○小学校・中学校・老人クラブとの交流や公民館活動への参加など様々な交流を行う。(パッピータイム・運動会・もちつきなど)								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○いろいろな人との触れ合いができ、親しみをもって思いの共有ができた。 ○様々な世代間の交流ができ、思いの共有ができた。 ○様々な世代間の交流を通して、園内ではできないいろいろな体験をすることができ、活動の場が広がった。 ○様々な人や、地域の方々との交流を深めることができ、五感を通した豊かな経験をすることができた。 ○様々な世代との交流を通して、積極的にあいさつをするなど、人への関わりが少しずつ積極的になってきた。反面、高齢者など普段かかわることが少ない世代に対しては、やや消極的な面があり、積み重ねが必要と感じる。 ○様々な世代間の交流活動ができた。米作体験をする中で、地域との交流ができ活動の場が広がった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
○地域・学校・家庭での交流活動の促進 ○老人クラブ・小学校との交流、地域行事への参加等を通して連携を深め、交流を継続していく。 ○小学校や公民館・地域との交流により、地域で見守り、育てる指導体制を確立する。 ○様々な人や地域の方々との交流活動の継続と内容の充実を図る。 ○地域行事への参加、地域の人々との交流活動を取り入れる。昨年は、他の幼稚園との交流がもてなかったため、里帰り保育の意味も込めて実施したい。 ○中高生の職場体験学習の実施。保育園・小学校・公民館・地域との交流 ○老人クラブとの交流(園内運動会・もちつき)・小学生との交流(ハッピータイム・運動会)・中学生との交流(てんやわんやウィーク)・地域との交流(敬老会・おまつりごっこ)								予算額
								—
								目標値
								100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[25] 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
様々な世代間の交流や体験学習、郷土芸能の伝承活動、小中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流の促進。 公民館活動を中心とした地域行事への積極的な参加。 低学年とお年寄りとの交流会の実施。 老人クラブとの交流や地域での体験活動。									
平成24年度実績									
保育園、障害者施設、老人ホームとの交流活動や、地域の方を講師として招き、門松作り等の活動を行った。 地域の秋祭りの御輿担ぎなどに、多くの児童生徒が参加した。 部活動に地域の教育力を導入している。 民生委員や、主任児童委員との定期的な話し合いを持った。 公民館(愛護会)の諸行事やボランティア活動への積極的な参加を促した。 総合的な学習の時間において、テーマを「共生」とし、福祉問題を取り上げ、各種講座を開設し、 関係機関の協力を得て、学習の機会を充実させた。 校区を中心とした職場体験学習を実施した。								決算額	
								実績値	
								87%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
交流を通じて自分たちが住んでいる地域の歴史や文化、人と人とのつながりについて学ぶことができた。 地域の方との交流によって、世帯間交流がうまくでき、挨拶が広がっている。 職場体験学習により、様々な世代との交流ができています。 情報の共有と共通実践においては大変効果的である。しかし、家庭の教育力が低い生徒についての指導が今後の課題である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
世代間交流行事の促進。 児童生徒が、計画段階から主体的に参加できるような行事の実施。 関係諸機関との連携強化。 地域や保護者との交流を深める職場体験学習の実施。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	1. 子育て支援の充実
具体的施策	[25] 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
地域交流推進事業	生涯学習課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
世代間交流や郷土芸能の伝承にかかる学級・講座及び、様々な体験学習を推進し、地域や学校、家庭での交流を促進する。								
平成24年度実績								
【公民館講座】 実施公民館数 :25館 実施回数 :138回 実施時間数 :259時間 参加者数 :1113人 内容 :郷土史学級、三世代交流、光る泥だんご作り、古典読書講座、パソコン教室等							決算額	
							553千円	
							実績値	
							-	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
限られた予算の中で、さまざまな学級・講座が実施できたことは評価できるが、平成23年度より実施公民館数が 館 し、実施回数・実施時間数等も減少するなど、全地域で実施し、多くの人が学べるよう土日や日中、夜間等に分散して開催する努力も必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
【公民館講座】 実施公民館数 :27館 実施回数 :132回							予算額	
							549千円	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	2. 介護支援の充実
具体的施策	[1] 介護休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課 [人事]	3人		①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
職員が家族を介護しなければならなくなった場合には、肉体的、精神的に職業生活と介護の二重の負担がかかることとなり、離職に至ることとなりかねない。介護休暇は、このような事態を回避するため、長期の場合は一定期間の休暇(無給)、短期の場合は特別休暇を認めることにより職員の離職を回避するもの。 長期における取得可能期間:2週間以上6か月以下 短期における取得可能期間:1年のうち5日(要介護者が2人以上は10日)								
平成24年度実績								
○平成24年度実績 長期における介護休暇 0人 短期における介護休暇 1人							決算額	
							-	
							実績値	
							1人	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
制度の周知を行う。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-	
平成25年度予定								
仕事と介護の両立ができるよう、制度の周知や相談体制の充実を図る。							予算額	
							-	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	2. 介護支援の充実
具体的施策	[4] 介護支援の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課							
事業の概要								
居宅において要介護4以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る								
平成24年度実績								
利用者数 : 205名 支給件数 : 1,454件 支給費総額 : 8,332,449円								決算額
								8,332千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていききたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
利用者数 : 200名 支給件数 : 1,660件 支給費総額 : 10,000,000円								予算額
								10,000千円
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	2. 介護支援の充実
具体的施策	[4] 介護支援の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課							
事業の概要								
居宅において要介護3以上の寝たきり及び重度認知症の高齢者を介護している家族に対し、介護手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る								
平成24年度実績								
利用者数：243名 支給月数：1,780ヶ月 支給費総額：8,900,000円								決算額
								8,900千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行ってきたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
利用者数：240名 支給月数：2,300ヶ月 支給費総額：10,000,000円								予算額
								10,000千円
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり
推進方策	2 育児期・介護期における環境の整備
施策の方向	2. 介護支援の充実
具体的施策	[4] 介護支援の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
地域自立生活支援事業(栄養改善配食事業(週1回配食、安否確認))	高齢者福祉課							
事業の概要								
居宅において食事の調理等が困難な65歳以上の独居高齢者等に対し、配食サービスを行うことにより栄養状態の改善と健康の増進を図るとともに、利用者の安否確認を行う。								
平成24年度実績								
利用者数：880名(延) 配食件数：7,251件 支給費総額：1,551,500円(委託料のみ)							決算額	
							1,552千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
○食事の提供が週に1回(昼食)のみであったため、十分な事業効果が得られていなかった。H21年度から週3回を上限に利用回数を増やし、利用者の安否確認を行うことに重点を置いている。 ○事業者選定は3年に1度実施しているが、H24年度から津島地区で、事業者が不在の状態が続いていたため、追加募集の実施、料飲組合等にも実施要請をしたが、未だに事業者が決定されていない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
利用者数：1,400名(延) 配食件数：7,800件 支給費総額：2,100,000円(委託料のみ)							予算額	
							2,100千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[1] あらゆる人に対する暴力の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
防犯灯設置補助金交付事業	企画情報課【総務課】	59件		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
住民の防犯意識を高め、犯罪を未然に防ぐ地域社会づくりに寄与するため、宇和島市の自治会が防犯灯を新規設置する場合及び既存防犯灯照明器具を一式交換する場合に補助金を交付するもの。									
平成24年度実績									
実績:80件 計714,249円								決算額	
								715千円	
								実績値	
								80件	
								進捗状況	
4									
事業に対する評価・課題等									
住民の防犯意識を高め、犯罪を未然に防ぐ地域社会づくりに寄与することができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。								予算額	
								0千円	
								目標値	
-									

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[1] あらゆる人に対する暴力の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
児童虐待・DVに関する情報を広報に掲載	福祉課 [子育て支援]	38回						
事業の概要								
乳幼児など児童に対する暴力を容認しない社会環境をつくるための啓発を推進するとともに、生涯を通じて暴力への加害者にも被害者にもなることがないよう、啓発、情報提供を行う。また、関係機関と連携し、女性に対する暴力を誘引する有害環境の浄化を推進する。								
平成24年度実績								
2名の相談員を配置し児童家庭相談活動の実施。 宇和島市要保護児童対策地域協議会の開催 1回 " 実務者会の開催 3回 " ケース進行管理会の開催 3回 " 個別ケース会の開催 16回								決算額
								0千円
								実績値
								23回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
年々困難なケースが増えているが、関係機関との連携により対処することができている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成25年度予定								
2名の相談員を配置し児童家庭相談活動の実施。 宇和島市要保護児童対策地域協議会の開催 1回 " 実務者会の開催 3回 " ケース進行管理会の開催 3回 " 個別ケース会の開催 15回								予算額
								0千円
								目標値
								22回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[1] あらゆる人に対する暴力の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
高齢者に対する暴力(家族による年金の取上げ、虐待)の防止	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
高齢者虐待の早期発見、早期対応のため、地域の関係機関等による連携を一層推進するとともに、地域コミュニティの中における相互の見守り機能を向上させ、虐待の防止へとつなげる取組を推進する。また、高齢者虐待をより早的確に発見し、関係機関の連携による適切な支援が展開できるよう、保健・医療・福祉関係者等の知識の向上を図るとともに、地域住民の高齢者虐待防止に関する関心や意識を高めていくための普及啓発を行う。								
平成24年度実績								
○虐待に関する相談件数……204件 ○養護者による虐待通報件数……26件(うち認定件数15件) ・被虐待者の性別……男性3人、女性12人 ・虐待の種類……身体的虐待12件、介護・世話の放棄・放任5件、心理的虐待6件、経済的虐待1件 ○養介護施設従事者等による虐待通報件数……0件 ○高齢者虐待防止研修会への講師派遣……2回								決算額
								5,564千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
○介護サービス事業所や居宅介護支援事業所のケアマネージャー等の関係機関・関係者との連携により、高齢者虐待の早期発見や迅速な対応を行った。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成25年度予定								
○高齢者地域見守りネットワーク(だんだんネット)の機能充実……協力事業所や見守り推進員と連携し、地域全体で見守りや訪問等を行い、虐待等を発見したときに迅速に対応していく。 ○高齢者虐待防止研修会への講師派遣を行う。								予算額
								5,859千円
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[1] あらゆる人に対する暴力の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
「愛の一声」活動推進事業(少年センター)	生涯学習課							
事業の概要								
街頭において声かけをすることによって、少年の非行を未然に防ぎ少年自身に自らの行為の過ちに気付かせるような補導活動を進める。 昼間補導 16:00～18:00 夜間補導 19:30～21:30								
平成24年度実績								
「愛の一声」年間対象者総数:1330人 (内訳) 小学生 211人(男135人 女76人) 中学生 291人(男139人 女152人) 高校生 743人(男432人 女311人) その他 85人(男73人 女12人)								決算額
								0千円
								実績値
								-
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
少年補導委員はあらゆる機会を通して、自らの補導委員としての資質を高め、日々の活動の中で青少年に「愛の一声」をかけられるよう研鑽を心がけることが大切である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成25年度予定								
ボランティア精神による各地区での「愛の一声」運動を推進し、前年度同様に積極的な声かけを実施する。								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[1] あらゆる人に対する暴力の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
市民啓発推進事業	人権啓発課	1回		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
市民を対象に、人権啓発パネル展を開催し、すべての人の人権が保障され、乳幼児から高齢者に至るまであらゆる人に対する暴力を容認しない社会環境をつくる啓発を推進する。									
平成24年度実績									
事業名：人権啓発パネル展 会 場：南予文化会館 ロビー 平成24年7月1（日） 参加者：450名								決算額	
								0円	
								実績値	
								1回	
								進捗状況	
4									
事業に対する評価・課題等									
人権啓発パネル展の実施により、男女雇用機会均等法やセクシャルハラスメントなど企業における「女性の人権」を広く市民に啓発した。働く女性の人権について、わかりやすく説明した内容となっており、参加者にあらためて女性の人権について考えるきっかけとなった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
事業名：人権啓発パネル展 会 場：南予文化会館 ロビー 平成25年6月2日（日） 参加者：280名								予算額	
								0円	
								目標値	
								1回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[2] 配偶者からの暴力の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
DVIに関する情報を広報に掲載	福祉課 [子育て支援]	1回		①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
講座の開催やパンフレットの作成配布など、配偶者等からの暴力についての認識を深め、配偶者等からの暴力防止に向けた啓発に努める。								
平成24年度実績								
県から送付されたパンフレット等を配布した。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							1回	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
特になし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
前年度と同様							予算額	
							0千円	
							目標値	
							1回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[3] ストーカー行為防止対策

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
婦人相談員事業	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
広報誌による啓発や、警察広報への協力などにより、つきまとい・待ち伏せなどのストーカー行為とそれに対する自己防衛策の周知に努めるとともに、相談体制の充実を図る。								
平成24年度実績								
2名の相談員を配置し婦人相談事業として、相談業務を実施している。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
警察などの関係機関との連携は取れている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成23年度予定								
前年度と同様							予算額	
							0千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	1. あらゆる暴力の防止
具体的施策	[4] 外国人労働者に対する暴力等の防止

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
外国人登録申請時における事業主に対する啓発事業	市民課							
事業の概要								
外国人登録の際、暴力防止に関するパンフレットを事業主に配布する。								
平成24年度実績								
配布に適するパンフレットが用意できず、実施しなかった。								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
配布資料の検討ができなかった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成25年度予定								
事業なし								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	2. 相談体制の充実と被害者保護の推進
具体的施策	[2] 被害者保護の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
DV被害者の申請による住民票等交付制限の取扱い等の徹底	市民課							
事業の概要								
ドメスティックバイオレンスやストーカー行為等の被害者から申請を受け、申出者の住民票・戸籍附票の発行交付を制限している。また関係する課の協力を得て、各課が扱う住所情報の保護にも配慮している。								
平成24年度実績								
平成24年度の申出件数は、21件								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
特に問題点や支援もなく運営された。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成25年度予定								
平成24年度の内容継続								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶
施策の方向	2. 相談体制の充実と被害者保護の推進
具体的施策	[2] 被害者保護の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
相談体制の充実(週5日常勤の婦人相談員の配置)	福祉課 [子育て支援]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
配偶者等からの暴力等の相談体制の充実を図るとともに、関係機関とのネットワークを確立し、被害者保護と自立を支援する取組を強化する。								
平成24年度実績								
2名の相談員(1名常勤・1名週3日)を配置し、婦人相談を実施している。 必要な場合には、県婦人相談所で保護を行う。							決算額	
							0千円	
							実績値	
							1回	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
警察、県婦人相談所などとの連携が図られている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成24年度予定								
前年度と同様							予算額	
							0千円	
							目標値	
							0回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
健康相談事業	保険健康課	231回		①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、ひいては個々の健康管理に資する。									
平成24年度実績									
1)まちの健康相談室 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定・体脂肪測定(偶数月のみ)・尿検査(必要時) 実施回数:年間 48回 (市役所、三間保健福祉センター、津島保健センター、吉田公民館において毎月実施) 参加者数:年間延べ 366人 2)その他の健康相談 実施内容:歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数:年間延べ 190回 参加者数:延べ 2,496人 総計:238回 延べ2,864人								決算額	
								245千円	
								実績値	
								238回	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
まちの健康相談室は、市内4地区において毎月定例日を設定し継続実施しており、市民への定着化を図っている。 健診結果の説明では、今年度から健診内容の中でも腎機能検査が充実したことにより、自分自身の結果について関心を持つ参加者が増加した。しかしながら、来所者は高齢化、固定化の傾向があり、次年度はより若い世代への周知を図っていくことが必要である。 市民のニーズに即した出前講座や相談は増加傾向にあり、今後は、定例日以外にも、随時相談対応が可能であることを周知し、市民に身近な相談窓口として活用を推進していく予定である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
1)効果的な事業の周知 ①まちの健康相談室の日程を、特定健診受診者へ配布する冊子に盛り込み周知する。 ②様々な保健事業を通じて広く周知し、活用を促進していく。 ③保健指導が必要な人が市の保健サービスを活用できるよう、医療機関(かかりつけ医)に利用勧奨を依頼する。 2)利用しやすい健康相談の設定 ①休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯に設定し、引き続き実施する。 ②がん健診時や人が多く集まる機会を利用した健康相談を設定する。 ③定例日以外にも、随時、来庁・電話相談等による相談が可能であることを周知していく。								予算額	
								256千円	
								目標値	
								250回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康教育事业	保険健康課	245回		①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
生活習慣病の予防等健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。								
平成24年度実績								
1)教育内容 ・メタボリックシンドロームなどの生活習慣病予防、がん予防、歯周疾患予防、骨粗鬆症予防等 2)地域における啓発活動 ①「健康づくり出前講座」の実施・・・公民館、保育園・幼稚園、学校等との連携による健康教育の実施 ②広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 ③「健康づくりパネル展」の実施 ④公民館館報掲載 健康教育 総計:267回 延べ11,861人 健康づくりパネル展 33回								決算額
								734千円
								実績値
								300回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
・従来、健康教育の参加者は女性が多い状況だったが、夫婦や男性の参加勧奨を強めたことにより、男性の参加者も増加傾向となった。 ・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、依頼元のニーズと市の健康課題を組み合わせ、プログラムや内容を検討し実施した。 ・公民館の活動計画に「健康づくり出前講座」を組み込みでもらい、地域での健康教育の機会が増加している。 ・今年度、パネルを改訂し、市民に見やすくわかりやすい媒体作りに努めた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
1)効果的な事業の周知 ①様々な保健事業を通じて広く周知し、活用を促進していく。 ②保健指導が必要な人が市の保健サービスを活用できるよう、医療機関(かかりつけ医)に利用勧奨を依頼する。 ③社会資源を活用し、地域・職域等との協働も視野に入れ、健康教育を周知していく。 2)利用しやすい健康教育の設定 ①休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯に設定し、引き続き実施する。 ②集団健診時や人が多く集まる機会を利用した健康教育を設定する。								予算額
								757千円
								目標値
								300回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
特定保健指導の推進	保険健康課	41.0%	45%					
事業の概要								
内臓脂肪型肥満に着目した特定健診の結果から、階層化を行い、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」、「動機づけ支援」、「積極的支援」に分け、特定保健指導を行うものである。 特定保健指導は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣病を改善することを目的に、「動機づけ支援」、「積極的支援」の対象者と共に、自らの生活習慣を振り返り、生活改善目標を設定し、実践(行動)に取り組むことができるよう、またセルフケア(自己管理)ができるよう支援するものである。								
平成24年度実績								
特定保健指導								決算額
積極的支援 対象者 240名 初回面接実施者 69名 実施率 28.8%								597千円
動機付け支援 対象者 430名 初回面接実施者 172名 実施率 40.0%								実績値
特定保健指導受講者の改善状況								36%
(積極的支援から動機付け支援・情報提供、動機付け支援から情報提供になったもの)								進捗状況
平成23年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率 37.1%								5
動機付け支援 改善率 16.9%								
事業に対する評価・課題等								
初回面接の実施率は、36.0%と昨年度の40.8%より低下した。 事業開始のH20年度は66.0%であり、第1期となる5年間で約半数の実施率となった。 再度の特定保健指導の受講を希望されない方が多く、理由として「自分で頑張る」という意見が多かった。再受講者への指導内容や資料の検討が必要である。 また、40～50歳代の利用率が低く受講しやすい環境づくりに努めたが、「忙しい」という理由が多く受講に結びつかなかった。 特定保健指導受講者の改善状況では、動機付け支援よりも支援回数が多い積極的支援のほうが改善率が高く、状況の悪化や進行予防への効果が見られた。評価アンケートには、特定保健指導をきっかけに「自分の健康に気をつけるようになった」「自分を見つけるいい機会を与えていただいた」という意見があり、意識改革・行動変容に結びついた方が多数おられた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
①利用勧奨の電話を継続して行う。								予算額
②健診結果送付時の特定保健指導案内を工夫する。								734千円
③働きざかりの年代も利用しやすいよう、休日の設定を継続する。								目標値
④使用する学習教材・冊子等を見直し、使用する。								50.0%
⑤ポピュレーションアプローチとの連携により、効果的な生活改善指導を行う。								

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
健康教育事業(ヘルスアップ実践講座)	保険健康課	24回		①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
体験型健康教育を通して、生活習慣病発症及び重症化の予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る。								
平成24年度実績								
【運動編】～ヘルシーウォーキング～ 実施回数 10回 実施内容 ウォーキングの正しい知識、自宅でできる筋力トレーニング等 * 総集編では、ウォーキングコースでウォーキングを実践 参加者数 延べ 83人								決算額
								—
【栄養編】～簡単野菜教室～ 実施回数 11回 実施内容 野菜の効果、必要量、摂取量アップの工夫 * 総集編では、調理実習を通じて野菜をたくさん食べる方法を実践 参加者数 110人								実績値
								21回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
【運動編】 参加者の多くはリピーターであり、初心者として参加した後、実践中の人が多くみられた。また、友人同士が誘い合っというケースが多く、講座の雰囲気は和やかだった。 従来、参加者は女性がほとんどだったが、夫婦や男性の参加を呼びかけた。 【栄養編】 市民の野菜摂取量が少ない状況から、野菜を多く摂る工夫についての内容が好評だった。 * いずれの講座も、内容が生活の中で実践しやすい内容だったことや楽しみながら学ぶ講座設定としたことから、参加者アンケートの結果も満足度が高く、今後実践したいとの感想が多かった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
1) 効果的な事業の周知 ①「ヘルスアップ実践講座」の日程を、特定健診受診者へ配布する冊子に盛り込み周知する。 ②様々な保健事業を通じて広く周知し、活用を促進していく。 ③健診結果に応じた生活改善に役立てられるよう、健診結果説明会等で周知する。 ④保健指導が必要な人が市の保健サービスを活用できるよう、医療機関(かかりつけ医)に利用勧奨を依頼する。								予算額
								—
2) 利用しやすい保健事業の設定 ①休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯に設定し、引き続き実施する。 ②特定保健指導利用者(積極的支援)の中間評価と講座を一部同日開催とする。								目標値
								22回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)	45回						
事業の概要								
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。								
平成24年度実績								
実施回数 45回(夜間糖尿病教室3回、調理実習11回含む。) 延べ参加者数 910名(入院患者133名、外来患者777名)								決算額
								—
								実績値
								45回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、糖尿病予防に対する意識啓発が図れた。 ○毎回、参加者の血糖値を測定するとともに、糖尿病またはその予備群の患者を中心として病態の把握や自己管理指導を行った。 ○糖尿病または糖尿病が原因となって引き起こす疾病についての基礎知識や治療法について、内科医が講義を行うほか、食事、運動、薬物などによる療法に関して、栄養士、理学療法士、薬剤師など各専門分野から糖尿病療養指導士のスタッフが指導を行うことにより、日常的な実践につながる情報を提供した。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
今後も定期的に実施する。医師は内科のみならず皮膚科や眼科などの講義も行い、歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講話を行うことで、より多角的に糖尿病への理解を深めていく。 患者会(パール会)活動を通して、世界糖尿病デー(11/14)のイベントも実施予定。								予算額
								—
								目標値

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)	12回						
事業の概要								
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。								
平成24年度実績								
実施回数 11回 延べ参加者数 174名(入院患者8名、外来患者166名)								決算額
								—
								実績値
								11回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。 ○重篤な心臓病を引き起こす要因となる高血圧や不整脈に関する基礎知識、心臓病を発病した場合の治療法など、毎回テーマに沿って、循環器内科医師または薬剤師による講義を実施するとともに、病態に応じた、または、予防のための食事療法について栄養士が指導を行うことで、日常的な実践に繋がる情報を提供した。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
月1回実施予定								予算額
								—
								目標値
								月1回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[3] 壮年期からの健康づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
心の健康相談事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
◎心の健康相談								
心の健康に関する個別の相談に対し、相談窓口の周知を行い、必要な助言及び情報提供等をを行うことにより、個々の持つ悩み等を軽減していくよう支援することを目的として実施。 相談内容には、受療に当たっての相談や社会復帰のための相談等も含まれ、個々のケースに対応している。								
平成24年度実績								
①実施場所	宇和島市役所						決算額	
②日程	毎月第2水曜日：年12回 予約制						—	
③スタッフ	精神科医師相談(精神科スタッフ)：年6回 保健師相談：年12回							
④利用状況	実人数 15人 延人数 16人						実績値	
⑤相談内容内訳(重複あり)	精神科疾患(疑い含む)：14人 うつ病：3人 妄想：1人 ひきこもり：4人						12回	
⑥来所者内訳	10代：0人 20代：1人 30代：4人 40代：1人 50代：4人 60代：2人 70代：3人						進捗状況	
						5		
事業に対する評価・課題等								
・利用状況は医師相談が11人、保健師相談は5人であった。年齢別にみると30歳代、50歳代の相談が最も多かった。 ・相談内容では、引きこもりやうつ傾向の相談が最も多く、自殺予防の観点からも、引き続き「心の健康相談」を窓口として、必要な方に専門医の受診につながるよう、支援していく必要があると考える。 ・医療機関の直接受診は抵抗があると感じる方が、心の健康相談で受診を勧められ、専門医への受診に繋がることができたケースがあり、受診への足がかりになっている。 相談内容により、後日、思春期の健康相談を受けたり、保健師の訪問を実施するなど、事後フォローを実施している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成25年度予定								
※地域自殺対策緊急強化事業の「対面型相談支援事業」として自殺予防の視点を強化し取り組む 1)対面型相談支援事業の実施・・・速やかに問題解決のための医療機関、各種窓口へ繋ぐ。 2)相談窓口の周知を強化・・・周知用パンフレットの作成・配布 ・各種相談窓口にチラシ等を設置し、フォローが必要なケースに配布する。 ・相談窓口一覧を明記したパンフレットを作成し、全戸配布する。 ・各保健事業や広報、市ホームページを活用し周知強化を図る。							予算額	
							—	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[4] 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
心の健康づくり教育事業	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規

事業の概要
市民に広く心の健康づくりに関する正しい知識の普及を図ることにより、心の病気の予防と心の健康増進に資することを目的として実施する。平成23年度は地域自殺対策緊急強化事業を活用し、従来の健康教育の他に専門医による心の健康づくり講演会を開催した。

平成24年度実績

①心の健康づくり講演会 日 時：平成24年11月4日(日) 午後1時30分～3時30分 講 師：NPO法人こころ塾 塾長:村松つね テーマ:「あなたのこころはお元気ですか」～地域でいきいきと暮らすために～ 参加者:130人 (資料配布200部)							決算額																																																			
②心の健康づくり教育・・・年間計画に基づき、各地区で実施							1,647千円																																																			
<table><tr><th rowspan="2">地区</th><th rowspan="2">開催回数</th><th rowspan="2">延人数</th><th colspan="3">年齢別内訳</th><th rowspan="2">対象者</th><th rowspan="2">内 容</th></tr><tr><th>～39歳</th><th>40～64歳</th><th>65歳以上</th></tr><tr><td>本庁</td><td>18</td><td>243</td><td>6</td><td>100</td><td>137</td><td>民生児童委員会理事会、天神校区民生委員児童委員、食生活改善推進協議会会員、育児サークル(ホットベースみかん)、宇和島市校長会、男性の料理教室生、一般市民等</td><td>あなたの「こころ」はお元気ですか？ 心の健康づくり 教職員のメンタルヘルスについて</td></tr><tr><td>吉 田</td><td>5</td><td>67</td><td>19</td><td>37</td><td>11</td><td>一般市民、母子愛育会、食生活改善推進協議会会員、健康相談来所者等</td><td>あなたの「こころ」はお元気ですか？ 不登校生徒への支援について</td></tr><tr><td>三 間</td><td>7</td><td>179</td><td>35</td><td>111</td><td>33</td><td>食生活改善推進協議会会員、精神障害者家族会、事業所健診受診者、社会福祉協議会ヘルパー、健康相談来所者等</td><td>あなたの「こころ」はお元気ですか？ 忘れん脳生活 心の健康づくり</td></tr><tr><td>津 島</td><td>4</td><td>65</td><td>0</td><td>27</td><td>38</td><td>民生委員児童委員、食生活改善推進協議会会員、男性の料理教室生、福祉会館体操教室参加者</td><td>心の健康づくり</td></tr><tr><td>計</td><td>34</td><td>552</td><td>60</td><td>275</td><td>219</td><td></td><td></td></tr></table>							地区	開催回数	延人数	年齢別内訳			対象者	内 容	～39歳	40～64歳	65歳以上	本庁	18	243	6	100	137	民生児童委員会理事会、天神校区民生委員児童委員、食生活改善推進協議会会員、育児サークル(ホットベースみかん)、宇和島市校長会、男性の料理教室生、一般市民等	あなたの「こころ」はお元気ですか？ 心の健康づくり 教職員のメンタルヘルスについて	吉 田	5	67	19	37	11	一般市民、母子愛育会、食生活改善推進協議会会員、健康相談来所者等	あなたの「こころ」はお元気ですか？ 不登校生徒への支援について	三 間	7	179	35	111	33	食生活改善推進協議会会員、精神障害者家族会、事業所健診受診者、社会福祉協議会ヘルパー、健康相談来所者等	あなたの「こころ」はお元気ですか？ 忘れん脳生活 心の健康づくり	津 島	4	65	0	27	38	民生委員児童委員、食生活改善推進協議会会員、男性の料理教室生、福祉会館体操教室参加者	心の健康づくり	計	34	552	60	275	219			実績値
地区	開催回数	延人数	年齢別内訳			対象者				内 容																																																
			～39歳	40～64歳	65歳以上																																																					
本庁	18	243	6	100	137	民生児童委員会理事会、天神校区民生委員児童委員、食生活改善推進協議会会員、育児サークル(ホットベースみかん)、宇和島市校長会、男性の料理教室生、一般市民等	あなたの「こころ」はお元気ですか？ 心の健康づくり 教職員のメンタルヘルスについて																																																			
吉 田	5	67	19	37	11	一般市民、母子愛育会、食生活改善推進協議会会員、健康相談来所者等	あなたの「こころ」はお元気ですか？ 不登校生徒への支援について																																																			
三 間	7	179	35	111	33	食生活改善推進協議会会員、精神障害者家族会、事業所健診受診者、社会福祉協議会ヘルパー、健康相談来所者等	あなたの「こころ」はお元気ですか？ 忘れん脳生活 心の健康づくり																																																			
津 島	4	65	0	27	38	民生委員児童委員、食生活改善推進協議会会員、男性の料理教室生、福祉会館体操教室参加者	心の健康づくり																																																			
計	34	552	60	275	219																																																					
							682人																																																			
							進捗状況																																																			
							5																																																			

事業に対する評価・課題等

①心の健康づくり講演会 ・今回、広く市民に心の健康づくり、うつ・自殺予防に関する正しい知識と互いに支え合うこと(気づき・つながり・見守り)の重要性について普及することを目的として講演会を開催した。全戸配布用で作成したパンフレットを講演内容に入れたり、笑いヨガなど演習も交え、わかりやすい内容であった。アンケートでは、「講演内容についてわかった」人は91%、「講演内容が役立つ」人は93%、講演当日や講演後も「良いお話だったので資料が欲しい」と言う人もあり、資料は全部で200部配布した。当市にあった内容で、市民からも反響があった、またアンケート結果からも市民のニーズにあった講演会であった。
②心の健康づくり教育 ・一般市民向け普及啓発用の全戸配布用パンフレットを作成し健康教育に使用することで、多くの人(男性の料理教室等)にライフステージごとのストレス要因や起こりやすい心のトラブルと予防対策、相談窓口等を周知できた。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成25年度予定

1)自殺予防の視点を強化した啓発活動の実施 ①講演会の継続開催(市中央)・・・ゲートキーパーの必要性について周知し、考え方の普及啓発 ②一般市民向け普及啓発用のカレンダーの作成・・・広報紙とともに全戸配布	予算額
	1,908千円
2)地域に出向いた教育により知識の普及・浸透を図る。 ①年間計画に基づいた健康教育の実施・・・啓発パンフレット・DVDの利用 ②心の健康パネルの改訂 ③心の健康カレンダーの全戸配布	目標値
	600人

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。									
平成24年度実績									
校内敷地内禁煙の徹底(学校行事・PTA活動等での呼び掛け)を図った。 喫煙・飲酒・薬物乱用防止と健康について学習する機会をもった。 生活安全課の方を講師とした薬物乱用防止教室の開催と、少年法に関連した講演の開催を行った。									決算額
									実績値
									91%
									進捗状況
									4
事業に対する評価・課題等									
未成年の喫煙・飲酒・薬物乱用の害についての理解が深まった。 公共の場でのマナーについての理解が深まった。 飲酒・喫煙・シンナーの吸引が成長を妨げる理解が深まった。 喫煙、飲酒について考えさせる良い機会となっているが、家庭の教育力が低い生徒には、課題が多く残っている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									4
平成25年度予定									
保護者へ受動喫煙防止について、呼びかけを行う。 喫煙、飲酒の健康被害について「保健」「特別活動」に位置づけ、授業で指導する。 公共の場でのマナーについての学習の展開。 薬物乱用防止教室を実施する。									予算額
									目標値
									100%

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課	30館	30館	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を目指す。									
平成24年度実績									
平成24年度で全館施設内禁煙を達成する事ができた。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								30館	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
市が管理している公民館は、市の方針として実施できるが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
市が管理している公民館は目標が達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	3施設	2施設	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
受動喫煙の防止対策を図るため、施設内の禁煙だけでなく、敷地内における全面禁煙を目指すもの。平成23年1月より津島病院が施設内禁煙を実施し、3病院すべての敷地内禁煙を実現した。									
平成24年度実績									
全市立病院において敷地内禁煙を実施。 市立宇和島病院心臓血管外科及び津島病院内科において、禁煙外来を実施している。 宇和島病院:H24年度患者数44人、禁煙治療終了者29人、禁煙成功者数24人 津島病院:H24年度患者数4人、禁煙治療終了者4人、禁煙成功者0人									決算額
									—
									実績値
									3施設
									進捗状況
事業に対する評価・課題等									
全病院において敷地内禁煙が達成されたため、今後は禁煙外来の推進を図り、市立宇和島病院及び市立津島病院において禁煙外来を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									—
平成25年度予定									
敷地内禁煙の継続実施。禁煙外来の推進。									予算額
									—
									目標値
									—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
喫煙室(入所者向け)の設置	病院局 (介護老人 保健施設)							
事業の概要								
受動喫煙防止対策を図るため、入所者用の喫煙室を設置するもの。								
平成24年度実績								
2施設とも、入所者のみを対象とした既存の喫煙室を継続利用								決算額
								—
								実績値
								—
								進捗状況
								—
事業に対する評価・課題等								
喫煙室を利用する際に、マナーが守られないことがある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成25年度予定								
喫煙室における通所利用者と入所者の喫煙マナーの指導を継続して実施する。(受動喫煙防止と火災予防の観点から)								予算額
								—
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
母親学級・両親学級	保険健康課	5コース		①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。								
平成24年度実績								
【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) 〔マタニティスクール〕 宇和島市に居住地を有する妊婦 〔パパママスクール・マタニティクッキング〕 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所) 宇和島保健センター (回数) パパママ:年5回(日曜日3回・夜間2回) マタニティ・クッキング:年3回(クッキング日曜開催2回)							決算額	
							201千円	
							実績値	
							パパママ5回 マタニティ2回 クッキング2回	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
・パパママスクールは日曜・夜間の開催で受講者も多く参加者の満足度も高かった。 ・クッキングは日曜開催に夫同伴での参加があり、夫婦の方が参加しやすいという声があった。 ・マタニティスクール、クッキングは参加者が少ない、教室の持ち方を見直し、より多くの妊婦とその配偶者が参加しやすいプログラムを検討したい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
・教室の持ち方、内容を検討し、利用しやすいプログラムとする。							予算額	
							16千円	
							目標値	
							-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
妊産婦相談	保険健康課	48回		①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。								
平成24年度実績								
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦				《定例相談》		決算額		
(場所・回数)								
〔定例妊産婦相談〕						0千円		
宇和島保健センター、立間公民館								
三間保健福祉センター、津島保健センター						実績値		
各12回／年 * 育児相談と同時開催								
〔随時妊産婦相談〕						48回		
集会所や公民館、電話等において随時実施。								
(内容) 個々の妊産婦に応じた相談				《随時相談》		進捗状況		
(従事者) 保健師・栄養士								
		妊婦		人数				5
		来所等		電話相談				
		全地区		18 28				
		産婦		人数				
		来所等		電話相談				
		全地区		15 20				
事業に対する評価・課題等								
・定例日の産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。								
・定例日の妊婦相談は昨年に比べ、減少傾向である。月に1回、各保健センターのみでの実施であるため、妊婦さんにとってなかなか足を運びにくい状況であると考えられる。								
・来年度からは電話相談も利用しやすいよう、母子健康手帳交付時に電話相談についての情報を伝えるようにする。								
・赤ちゃん訪問時のアンケートによると、産後うつリスクが高い人は25.2%と昨年度とあまり変化はない。今後も母親のメンタル面に対して、訪問や相談などで随時フォローをしていくことが必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成25年度予定								
・母子健康手帳交付時に、定例日の妊婦相談だけではなく、電話相談も行っていることを伝え(電話番号、対応時間等)利用をすすめる。							予算額	
・マタニティスクール等でも引き続き妊婦相談の場の利用をすすめる。							0千円	
							目標値	
							48回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向								
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規				
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	98.0%	14回／人 (100%)	①充実	●	②継続		③新規				
事業の概要												
母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。												
平成24年度実績												
・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ・健診内容が県下で見直し、5項目が追加となった。(①HIV-①抗体検査 ②風疹ウイルス抗体検査③性器クラミジア検査 ④GBS膣分泌検査 ⑤超音波検査) ・追加検査は平成24年4月1日以降の健診受診者が対象となるため、新しい受診票の差しかえを円滑に実施した。				②9枚綴り分			決算額					
					交付数	受診数	受診率(%)	36,157千円				
				1回目	555	504	90.8%					
				2回目	563	455	80.8%					
				3回目	572	456	79.7%					
				4回目	575	454	79.0%					
				①5枚綴り分				5回目	579	449	77.5%	98.1%
								6回目	581	418	71.9%	
								7回目	582	354	60.8%	
								8回目	582	264	45.4%	
9回目	582	168	28.9%									
				実績値		進捗状況						
						5						
事業に対する評価・課題等												
・妊婦健診の内容は平成24年度より県下統一となり、新たに5項目の検査が追加され、健診内容は充実してきた。定期的に健診を受診している妊婦の割合もここ数年、98%以上である。												
・血糖値の高い妊婦が増加しているため(H23度は3.5%)、平成25年度からは高血糖妊婦の経過観察を確実に行っていきたい。												
・今後も、母子健康手帳交付時に利用方法を説明し、妊娠期の健康管理を適切に支援していきたい。												
男女共同参画の視点での評価												
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—					
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—					
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—					
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—					
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—					
平成25年度予定												
・平成24年度と同様に14回分の受診票を交付し、適切な時期に健診を受けるよう勧奨し、妊娠期の健康管理に役立てる。 ・近年割合が高くなっている高血糖妊婦のフォローを実施し、妊娠期に高血糖であった方に40歳以降特定健診受診を勧奨するため、健診結果より高血糖妊婦を抽出し、経過観察を確実に行う。							予算額					
							42,320千円					
							目標値					
							100%					

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規	
母子健康手帳の交付事業	保険健康課	522人		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。									
平成24年度実績									
(対象) 宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所) 本庁及び支所窓口にて交付 (内容) 母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明 (従事者) 保健師								決算額	
								91千円	
								実績値	
								544人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
・母子健康手帳交付時、夫婦での来庁も増えており、母子健康手帳及び妊婦一般健診についての説明や出産についての相談を夫婦で聞くことができる。 ・平成24年度は、出産後に母子健康手帳を交付した方はおらず、8割以上が満11週以内に交付している。 ・妊婦アンケートにから、妊娠中の喫煙率は前年度より増加しており同居家族の喫煙率も高値のため、今後も母子健康手帳交付時に喫煙による胎児や母体への影響を説明し禁煙を勧めていく。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙も含む)による胎児や母体への影響についての情報提供・パンフレットの配布を行い禁煙を勧める。 ・平成25年度からの妊婦歯科健康診査の実施に伴い、妊娠中の歯科健診の重要性について情報提供し受診を勧奨していく。								予算額	
								87千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
安産教室	病院局 (宇和島病院)	34回						
事業の概要								
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。								
平成24年度実績								
毎月第1、第3、第4水曜日に実施。(第1水曜日は栄養指導も実施)								決算額
【栄養指導分】・・医師、助産師による指導、相談等に加え、栄養指導を実施 実施回数 10回 延べ参加者数 64名(外来患者)								—
【一般分】・・医師、助産師による指導、相談等 実施回数 25回 延べ参加者数 261名								実績値
								35回
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○定期的に開催しており、また該当者には検診時に案内していることから、初産の方でも気軽に参加することができる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成25年度予定								
引き続き月3回程度実施予定。								予算額
								—
								目標値
								月3回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
育児学級	病院局 (宇和島病院)	12回						
事業の概要								
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来にいられた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。								
平成24年度実績								
毎月第2水曜日に実施。 計画回数 12回 延べ参加者数 0名								決算額
								—
								実績値
								0回
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
定期的に開催を予定しており、また該当者には、検診時に案内しているが、参加者がいない。今後も継続し参加を呼びかけていく。								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成25年度予定								
引き続き月1回程度実施予定。								予算額
								—
								目標値
								月1回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[8] 生涯スポーツの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	廃止	③新規
総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課 [スポ振興]							
事業の概要								
年齢や耐力に応じた様々な運動やスポーツに、「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康維持・増進を目指す総合型スポーツクラブを助長しようとするものである。								
平成24年度実績								
平成21年度より、環太平洋大学が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。(平成21年度 廃止)								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								-
事業に対する評価・課題等								
なし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成25年度予定								
平成21年度 廃止								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	②継続	●	③新規	
HIV／エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課					●		
事業の概要								
全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数*（確定値）は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。								
平成24年度実績								
愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。 また、ひとり暮らしサポート講座【体験学習型】(希望する高校と連携して公民館で実施)及び【出前講座】(希望する高校に出向いて実施)において、ひとり立ち前の高校3年生に対し、HIV/エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。								決算額
								0千円
								実績値
								-
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
県内の患者・感染者の発生は、平成12年以降年間7件程度で推移し、平成23年は11件、平成24年は10件と2年続けて報告数が多い状態が続いている。平成25年は、5月22日現在で既に1件の報告があるという状況から、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。 市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続いて協力体制を継続するとともに、高校生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に出向いて健康教育を実施。								予算額
								0千円
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV／エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
HIV／エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 「心身ともに健康な子」の育成。 学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。									
平成24年度実績									
保健領域において、発達段階に応じた指導を行った。 年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。(集中学習) 人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童生徒の育成に努めた。 性教育講演会を開催し、知識や理解を深めた。								決算額	
								実績値	
								87%	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
正しい知識を学ぶことで、HIV／エイズや性感染症に対する認識が深まった。 保護者への啓発や、連携を強めていく必要がある。 同学年の児童生徒でも知識量に差があり、個に応じた指導が難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
HIV／エイズや、性感染症に関する正しい知識の普及を継続する。 保健便り、学級通信等を通じて、保護者に啓発してゆく。 性に対する正しい知識や認識を持ち、自他の性や命を大切にする態度を性教育を通して養う。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[2] 発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86%	100%	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切にし、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。									
平成24年度実績									
児童生徒の実態に応じた基本的な生活習慣の定着を図った。 生命誕生のしくみを知り、一人一人かけがえのない存在であることを理解させるよう努めた。 理科、保健体育科及び学級活動の学習内容として、年間指導計画に示し、計画的に実践している。								決算額	
								実績値	
								87%	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
学習したことが、普段の生活の中で実践できるようにしていくことを心掛けて指導に当たった。 家庭と連携した性に関する指導の必要性を感じた。 発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり一律の指導は難しい。 過度な情報の中から、正しいものを判断する力を身に付けさせる必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
学年集会・全校集会を活用した、生命と人権を大切にした講話や指導。 行事(人権集会や文化祭など)を活用した指導の充実と工夫。 各学年、各教科で、それぞれの学年に合わせた目標を設定する。 性に関する指導を年間指導計画の中に位置付け、各学年の発達段階に応じた指導を実施する。 養護教諭と担任による授業や、保健集会を計画的に実施する。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																			
		現状値(H23)	目標値(H24)																																				
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	16.8%	65%	①充実		②継続	●	③新規																															
事業の概要																																							
糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、内臓脂肪症候群の該当者及び予備群を減少させるために行う特定保健指導を要する者を、的確に抽出するため健診を実施する。																																							
平成24年度実績																																							
<table><tr><td></td><td>健診区分</td><td>回数</td><td>対象者</td><td>受診数(人)</td><td>受診率</td></tr><tr><td rowspan="2">特定健診</td><td>集団</td><td>59</td><td rowspan="2">20973</td><td rowspan="2">4251</td><td rowspan="2">20.30%</td></tr><tr><td>個別</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">後期高齢者健診</td><td>集団</td><td>59</td><td rowspan="2">15030</td><td rowspan="2">514</td><td rowspan="2">3.40%</td></tr><tr><td>個別</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">その他の健診</td><td>集団</td><td>59</td><td rowspan="2"></td><td>9</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別</td><td></td><td>0</td></tr></table>									健診区分	回数	対象者	受診数(人)	受診率	特定健診	集団	59	20973	4251	20.30%	個別		後期高齢者健診	集団	59	15030	514	3.40%	個別		その他の健診	集団	59		9		個別		0	決算額
									健診区分	回数	対象者	受診数(人)	受診率																										
								特定健診	集団	59	20973	4251	20.30%																										
									個別																														
								後期高齢者健診	集団	59	15030	514	3.40%																										
									個別																														
								その他の健診	集団	59		9																											
個別		0																																					
								31651千円																															
								実績値																															
								20.3%																															
								進捗状況																															
								3																															
事業に対する評価・課題等																																							
昨年に比べ、受診率が20.3%に上昇。色々な方法で受診勧奨に努めており、やっと20%に達することができた。健診対象者の中には既に治療・経過観察中の人も多く、個別医療機関の協力のもと、治療中の人への受診にも力を入れている。 次年度は新規受診者や経年的未受診者等、対象者に応じた受診勧奨で未受診者対策に取り組み、受診者増を図りたい。また、受診者に対しては、要医療者が医療につながり、治療中でもコントロールできていない人に対しての保健指導等を行う等、重症化予防に取り組んでいく必要がある。																																							
男女共同参画の視点での評価																																							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4																															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4																															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5																															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5																															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5																															
平成25年度予定																																							
①特定健診についての周知徹底 ・健診対象初年度となる40歳の自己負担を無料とし、個別通知する。 ・事業主健診等受診者へもアプローチし、市の保健事業を広報する。 ②魅力ある特定健診の実施 ・がん検診とのセット健診や休日健診を設け、受診機会を広げる。								予算額																															
								35093千円																															
								目標値																															
								65.0%																															

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	12.0%						
事業の概要								
がんが市民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の充実を図る。このために必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に努めることにより、がん死亡率を減少させる。								
＜対象＞ 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 (乳房超音波検診:30歳代の女性) 前立腺がん検診:40歳以上の男性								
平成24年度実績								
							決算額	
	受診者	受診率			回数		55,366千円	
胃がん	2762	8.6		胃がん	57			
肺がんCT	915	2.9		肺がんCT	12			
肺がんCR	2263	7		肺がんCR	60		実績値	
大腸がん	4395	13.7		大腸がん	78		12%	
前立腺がん	1666	13.6		前立腺がん	60	乳がんエコー検診2回 97人	進捗状況	
子宮頸がん	3042	13.7		子宮頸がん	45			
乳がん	3224	16.2		乳がん	49		5	
事業に対する評価・課題等								
・乳がん検診については受診者が増加した。 ・子宮頸がん・乳がんの無料クーポン券やピンクリボンの普及活動により、検診が身近になったと考える。 ・平成23年度は、試行的に乳房超音波検診を実施した。対象者は30歳代の女性とし、若年層の乳がん早期発見の機会とした。 ・その他の検診の受診数は、横ばいか若干の減数となった。特定健診等も同様であり、今後も積極的な勧奨が必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成25年度予定								
①年度末年齢40歳の方の胃・肺CR・大腸がん検診の自己負担無料を継続する。							予算額	
②受診しやすい検診体制の確保 ・1日で全てのがん検診を受けられる日の設定。 ・地区の事情に応じた日程の設定。休日を含む全曜日の設定。							59,120千円	
③がん対策推進員(愛媛県が育成)・自治会へ勧奨協力を依頼する。								
④30歳代を対象とした乳房超音波検診の定例実施の継続。							目標値	
⑤託児付き子宮頸がん検診の継続。							13%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規	
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	73自治会	50自治会	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。									
平成24年度実績									
各自治会等の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数49回、出席者数807名。								決算額	
								—	
								実績値	
								49自治会	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
地域住民にたいへん好評で、これからの地域医療及び僻地の自治体病院経営を考える上で重要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
各自治会で継続して開催していく。								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規	
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			①充実	●	②継続	③新規	
事業の概要								
全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。 ○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。								
平成24年度実績								
○がん患者とその家族を対象に“がんサロン”(通称「さくらサロン」)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ○医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 626件 電話相談 1,069件 ○年4回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 ○拠点病院として「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の均てん化を図った。								決算額
								18,665千円
								実績値
								左記のとおり
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○「さくらサロン」の開設によって、体験された方にしか分からない胸の内が話せたり、体験された方同士、ご家族同士で話す中で、「辛いのは自分一人ではない」と思っていただけの輪が広がっている。 ○連携の標準化と質の評価方法の確立として、連携を担う人材の育成と職能の確立及び治療成績と療養の質の評価尺度が必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成25年度予定								
○在宅がん医療を進めるためにも、がん医療の標準化・均てん化に力を入れる。 ○がん地域連携クリティカルパスのアウトカムを精査し、地域完結型医療の体制を整える。 ○ドナベディアンモデルの考え方を導入し、指標や目的仮説の妥当性を検討し、系統的な評価指標を作る。								予算額
								—
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	●	②継続		③新規
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)							
事業の概要								
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。								
平成24年度実績								
新病院の開院に伴って施設面でも改善され、ドックエリアには、2日ドック用にバス・トイレ付きの個室8室を完備するとともに、専用の内科診察室、検査の合間や食事の際に利用可能なラウンジを設け、23年度からは2日ドックの利用者は院内レストランで食事を取ることができるなど、受診者の利便性・快適性も向上している。また、2日ドック対象者については、個別に健康管理指導を行っている。 【ドック受診者】 1日ドック：1,051名 2日ドック：562名 脳ドック内数：143名 受診者数計：1,756名(男性 883名、女性 873名)								決算額
								—
								実績値
								左記のとおり
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○ドック最終日に集団指導を実施し、個人個人にあった健康管理に役立っている。 ○各種検査や診察を通常の外来診療に組み込んで実施しているため、人員体制、設備的な側面から1日あたりの受け入れ人数を増員できない現状がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
継続実施								予算額
								—
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。 平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。								
平成24年度実績								
平成24年3月末に医師が1名退職し、24年4月から、9施設4医師での診療体制となっている。 平成24年度は、蔣淵診療所長が遊子・下波・蔣淵診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。 遊子診療所の医師不在に伴い、遊子・下波・蔣淵診療所の診療体制が変更し、3診療所いずれも、前年度と比較して診療日数が減少することとなった。 診療所が所在する地域の人口減少も顕著であり、受診患者数も減少傾向にある。								決算額
								実績値
								9施設4医師
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
全国的に医師数が不足している中、宇和島市においても、市立宇和島・吉田・津島病院が医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。募集条件(給与の増額など)の変更は財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。 平成24年度末の医師1名退職に伴い、以後当面の間、医師不足が見込まれる。勤務地の情報(地域、診療所、設備、行政等との連携)を広く周知するなど、継続して情報発信する必要があり、また、赴任後の診療所・医師へのサポートを含め、長期間安定して勤務できる体制を構築することも課題の一つである。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
将来的な再編計画(案)の検討を進めており、その中で、へき地診療所の在り方等について検討する予定としている。								予算額
								目標値

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	②継続	●	③新規	
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課							
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理（運航等）を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。								
平成24年度実績								
平成24年度は、戸島診療所長が兼任管理する嘉島診療所への移動手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。 また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。 毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっている。								決算額
								5,549千円
								実績値
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない地域に所在しているが、これら地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船を利用することになる。 特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風災害時等の運航停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きくなっている。 現在、下波（柿の浦）から出航し、戸島と嘉島の医師移送に伴う運航を主に行っているが、今後の医師の配置状況により、運航区間は変更するものと考えている。診療所長との協力体制の確立及び、診療船の効率的な運用により、地域医療の安定的な提供に努める必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
ここ数年、離島における診療所長の異動等はなく、よって25年度も24年度と同様、戸島・嘉島間の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。 医師の退職等があれば、診療日程の変更、兼任管理の変更が必要となるが、適宜、実情に即して対応する。								予算額
								5,259千円
								目標値

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	①充実	●	②継続		③新規
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。								
平成24年度実績								
○「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。診療所を含むオープン病床の利用者数は334名、延在院患者数4,035名、来院回診数444回。 ○診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や 状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)								決算額
								—
								実績値
								—
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
それぞれの事例により対応等は異なるが、 ①離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。 ②診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。 ③診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。 などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
継続実施								予算額
								—
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は1次医療機関として、患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。								
平成24年度実績								
診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を、診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。 診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)								決算額
								0千円
								実績値
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
それぞれの事例により対応等は異なるが、 ①離島においては、患者の移送手段が限定されてしまう。 ②診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合がある。 ③診療所医師不在時に患者への対応ができない場合がある。 などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
前年度と同様。								予算額
								目標値

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3. 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続		③新規	●
ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	1施設 (搬送件数4件)	1施設	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
災害拠点病院として、災害時等の緊急搬送ができるよう屋上ヘリポートを設置しており、発着回数等から推測して、飛行場外離着陸場の位置づけで運用している。設備的には、初めて着陸するパイロットにも見やすさと安心感を与えるため、見やすい角度に照明装置を設置し、上空から目につきやすいカラーリングを施すなど、安全面を考慮したものとなっている。また本体部分は、劣化を抑えるためアルミ化しており、コスト優先ではなく安全面を優先している。なお、運用によっては、離島や山岳地帯からの搬送等も可能であり、県防災航空事務所と連携して訓練等を行い、運航確認をしている。									
平成24年度実績									
救急搬送患者発生時のフローについて、宇和島消防本部、愛媛県防災航空隊と協議を行い確定した。 ○搬送件数 9件(うち訓練2件)								決算額	
								—	
								実績値	
								1施設 (搬送件数9件)	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
運用フローが決定し、患者搬送も行い、目標は達成したと思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
災害時における運用形態についてマニュアルを再確認する。								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
コミュニティバス運行事業	企画情報課 [総務]	40,607人	43,000人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
事業者路線バスの廃止代替路線として3路線、交通空白地域への対策として5路線を運行している。									
平成24年度実績									
利用者 38,971人								決算額	
								25,231千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
各路線とも利用者数は減少傾向か横ばいという状況であることから、利用者数の増加と収支率の向上を図るための方策はもちろんのこと、利用者の方々に、今後も継続して利用していただけるような取り組みが必要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
各地区でコミュニティバスの運行を継続し、津島地区では7月1日から新規路線(野井・五郎丸線)の運行を開始する。								26,372千円	
利用者ニーズに即した運行形態の導入と運行体制の整備により、地域に愛される交通網の構築と交通空白・不便地域の解消を目指し、地域住民の生活交通を確保していく。									
また今年度は「ふるさとわじま応援事業」によるバス車両のラッピング装飾を実施することになっており、当市のコミュニティバス事業を広く市民の方々にアピールすることで、新規利用者の開拓と利用者数の増加を図っていく。								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。								
平成24年度実績								
国庫補助路線 21,629千円 9系統 県単補助路線 49,162千円 7系統 市町単独路線 7,093千円 11系統							決算額	
							77,884千円	
							実績値	
							—	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
利用者の減少→路線廃止、減便等縮小→さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成25年度予定								
継続して実施。							予算額	
							78,000千円	
							目標値	
							—	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
離島航路維持・確保事業	企画情報課 [総務]			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。									
平成24年度実績									
九島航路 50,690千円 日振航路 61,158千円								決算額	
								111,848千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
—									
事業に対する評価・課題等									
離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入減により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路はかろうじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
継続して実施。								予算額	
								116,672千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[1] 地域生活支援体制の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規	
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。									
平成24年度実績									
利用者数：281人(3月末利用者) 総事業費：2,304,415円								決算額	
								2,304千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
利用者数：300人 総事業費：2,689,000円(委託料2,200千円、設置手数料489千円)								予算額	
								2,689千円	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	事業利用者数 404人	400人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。									
平成24年度実績									
手話通訳者派遣数 403回 ・ 要約筆記奉仕員派遣数 28回									決算額
									1,526千円
									実績値
									431回
									進捗状況
									3
事業に対する評価・課題等									
事業開始後、過去最多の申請数となった一方で、新規登録の通訳者がおらず、通訳者の養成が今後の課題。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									3
平成25年度予定									
前年度より若干上回る依頼数を見込んだ数字を計上。									予算額
									1,552千円
									目標値
									450回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
移動支援事業	福祉課	事業利用者数 30人	83人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。									
平成24年度実績									
実利用者数:14人								決算額	
								1,931千円	
								実績値	
								14人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
必要な支援を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
前年度と同様								予算額	
								1,900千円	
								目標値	
								14人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
地域活動支援センター	福祉課	事業利用者数 (月別)150人	200人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。									
平成24年度実績									
地域活動支援センターたちばな作業所他3箇所・・・延利用人数 8,674名 月別 180人								決算額	
								41,291千円	
								実績値	
								180人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
必要な支援を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様								予算額	
								41,392千円	
								目標値	
								200人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
日常生活用具給付等事業	福祉課	事業利用者数 559人	520人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。									
平成24年度実績									
給付件数 2,175件 事業利用者実人数 571人								決算額	
								23,147千円	
								実績値	
								571人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
障害者の日常生活に必要な支援を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
平成24年度と同様に実施する								予算額	
								23,900千円	
								目標値	
								570人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
相談支援事業	福祉課	6,865人		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
障害者等が自立した社会生活を営むことができるよう、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を実施する。									
平成24年度実績									
地域活動支援センター柿の木 : 実人数 175人 ・ 延人数 2,295人 相談支援センター豊正園 : 実人数 165人 ・ 延人数 2,355人 南愛媛療育センター : 実人数 224人 ・ 延人数 675人 地域活動支援センターグリーン工房 : 実人数 50人 ・ 延人数 478人								決算額	
								26,593千円	
								実績値	
								5,803人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
障害者本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用等必要な支援を実施している。 実績値が減少しているのは、今年度から計画相談支援を実施するようになり、障害福祉サービス利用者に対する相談は、計画相談支援に計上されるためと思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
平成24年と同様に実施する。								予算額	
								24,950千円	
								目標値	
								6,000人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
自立支援給付事業	福祉課	3,392件		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する									
平成24年度実績									
自立支援医療費(更生医療) 対象レセプト 3,472件								決算額	
								168,090千円	
								実績値	
								3,472件	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
必要な医療助成を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様								予算額	
								165,000千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)				
重度心身障害者医療事業	福祉課	2,371人		①充実		②継続	③新規
事業の概要							
重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。							
平成24年度実績							
対象人員：2,380人 助成件数：61,600件 助成金額：380,091,212千円 施行事務費：4,753千円						決算額	
						380,091千円	
						実績値	
						2,380人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成25年度予定							
前年度と同様に実施予定						予算額	
						376,000千円	
						目標値	
						2,380人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H23)	目標値(H24)				
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課	1,608人		①充実		②継続	③新規
事業の概要							
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。							
平成24年度実績							
対象延べ人数：1,579人						決算額	
						35,733千円	
						実績値	
						1,579人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成25年度予定							
前年度と同様に実施予定。						予算額	
						36,800千円	
						目標値	
						1,600人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[2] 地域生活の支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
特別児童扶養手当事務事業	福祉課	150人		①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。									
平成24年度実績									
受給者数:157名								決算額	
								238千円	
								実績値	
								157人	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
着実に事務を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様に実施予定								予算額	
								228千円	
								目標値	
								160人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%		①充実		②継続		③新規	
事業の概要									
関係機関との連携のもと、障害児保育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努めます。									
平成24年度実績									
○関係機関との連携をとり、個別の特別支援教育の取組や就学相談を受けながら、一貫した教育・育成に努めた。 ○特別支援教育研修会・講演会・関係諸機関等との連携を図りながら、育成に努めてきた。 ○特別支援教育連携協議会や研修会に積極的に参加し、障害児教育の理解に努める。また、小学校や関係機関との連携を図り、就学に向けた教育相談を実施した。 ○特別支援に関する研修会への参加や、園内研修の充実。 ○高齢者や障害をもっている方々との交流する機会をもつように努めた。 ○24年度は、配慮児がいなかったため、特に関係機関との連携はとらなかった。特別支援学級に就学した1年生の担任・保護者との情報交換や職員の研修を行った。 ○幼・小関連も含め、関係機関との連携も行った。 ○幼児一人一人の実態を把握し、幼児の成長・発達を促すために研修・実践を行い、教育の充実を図る。								決算額	
								—	
								実績値	
								100%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○個別の特別支援教育の就学相談などの保護者の理解と協力を得て、どのように推進していくか。 ○個別の支援教育の推進について、保護者との連携や啓発の在り方を工夫する。 ○保護者や小学校、関係機関との連携を図ることによって研修が深まり、個別の支援教育の充実を図ることができた。 ○幼児一人一人の課題を明確にし、全教師が同じ意識をもって個に応じた保育をおこなうことができた。 ○高齢者の方との交流は少しではあるが実施することができた。 ○特別支援教育への理解を深めるように努めた。卒園後も、特別支援学級に就学した幼児の保護者との信頼関係をもち続けることができていることをうれしく思う。 ○充実した幼・小関連教育ができた。保護者との連携や啓発に工夫したい。 ○特別支援コーディネーターを中心に配慮を要する幼児についての共通理解を図り、指導にあたることで成果が感じられた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
○特別支援教育研修会・講演会等への参加 ○職員の研修会への参加や保護者との連携を充実させる。 ○保護者に対して、特別支援教育について啓発を続けていく必要がある。 ○高齢者や障害を持っていつ方々との交流 ○あけぼの園、保健師さんとの情報交換に努め、配慮児にとって居心地のいい園作りを行う。また、特別支援教育研修会への参加や、小学校との情報交換も引き続き行う。 ○あけぼの園・愛媛南病院旭川荘との連携 ○園内研修・個別の指導計画の作成								予算額	
								—	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[3] 教育・育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
特別支援教育推進事業	学校教育課	88%		①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。 高齢者や障害者についての理解を深める。 相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。								
平成24年度実績								
総合的な学習の時間における「福祉」教育の充実。 職場体験学習における介護体験。 特別支援学級における交流学習の充実・理解を深めた。 老人ホームへの訪問を、教育課程を通じて位置付けし、実施した。 特別支援教育校内委員会の充実、進路相談の充実。							決算額	
							実績値	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
専門機関との連携を取り、指導を受けながら個々のニーズにあった支援を行った。 支援委員会を計画的に実施し、全教職員で共通理解を図りながら指導に当たった。 高齢者養護施設との交流によって、子どもが障害者やお年寄りと接する態度や心が育った。 特別支援学級に在籍する児童生徒への理解が深まっている。 保護者や家族の願いを把握する取り組みは重要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
各専門機関との連携。 校内支援委員会のさらなる充実。 特に配慮が必要な児童生徒に対し、個別の指導計画を作成、実行し、全職員で共通理解を図りながら指導していく。 老人ホームとの交流に工夫を加えていく。 特別支援教育コーディネーターを中心として、一人一人のニーズに応じた支援を外部の諸機関と連携しながら推進する。 総合的な学習の時間において、テーマを「共生」とし、福祉問題を取り上げ、各種講座を開設し、							予算額	
							目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[4] 消費者対策の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課 [商工観光課]	292人	1,500人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
消費者支援講座の開催。									
平成24年度実績									
平成24年度消費者支援講座 ○平成24年7月5日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:祝森老人クラブ 21名 ○平成24年10月18日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:野川地区高齢者教室 40名 ○平成24年10月25日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:下波老人クラブ・下波在住者 12名 ○平成24年11月30日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:高齢者(吉田町 若草クラブ) 10名 ○平成24年12月19日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:御槇老人クラブ(御槇高齢者学級) 27名 ○平成25年1月25日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:明倫地区独居老人 97名 ○平成24年2月14日 内容・テーマ「消費者被害にあわないために」 参加者:津島高等学校生徒 91名 ○平成25年2月22日 内容・テーマ「悪質商法にだまされない」 参加者:喜佐方地区高齢者 25名								決算額	
								-	
								実績値	
								323人	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
社会に出て行く高校生に、自分自身で身を守る知識や判断能力を身に付けることを目的した講座を行った。今後においても、消費に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
公民館職員研修会や民生児童委員等の会議で、消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行う。								予算額	
								-	
								目標値	
								350人	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[4] 消費者対策の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
消費者啓発事業(消費啓発講座)	企画情報課 [商工観光課]	150人	200人	①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
消費啓発講座の開催。									
平成24年度実績									
【消費者啓発パネル展】 日時:平成24年7月1日(日) 場所:南予文化会館ロビー 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布 日時:平成24年10月1日(月)～平成24年10月5日(金) 場所:市役所1階ロビー 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布									決算額
									-
									実績値
									-
									進捗状況
									4
事業に対する評価・課題等									
・困った時の相談窓口「宇和島市消費生活センター」を市民に広く周知できた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成25年度予定									
【消費者啓発パネル展】 日時:平成25年5月20日(月)～平成25年5月24日(金) 場所:市役所1階ロビー 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布 日時:平成25年6月2日(日) 場所:南予文化会館 内容:消費者啓発パネル展、啓発グッズ配布									予算額
									-
									目標値
									-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向							
		現状値(H23)	目標値(H24)			①充実		②継続	●	③新規	
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課					①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要											
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。											
平成24年度実績											
年間活動延月数：1,428ヶ月（119クラブ） ○社会奉仕活動事業（地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等） ○老人教養講座開催事業（介護講座、健康講座、防災講座等） ○健康増進事業（健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等）										決算額	
										1,428千円	
										実績値	
										左記参照	
										進捗状況	
										3	
事業に対する評価・課題等											
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。											
男女共同参画の視点での評価											
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか											
性別による固定的な役割分担等が行われていないか											
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか											
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか											
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか											
平成25年度予定											
年間活動延月数：1,428ヶ月 ○社会奉仕活動事業（地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等） ○老人教養講座開催事業（介護講座、健康講座、防災講座等） ○健康増進事業（健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等）										予算額	
										1,856千円	
										目標値	
										-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいがいづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実		②継続	●	③新規	
熟年就農講座 (新規就農支援講座)	農林課								
事業の概要									
高齢者や新規就農者等の自発的な農業への取り組みを支援する									
平成24年度実績									
開催回数:12回 延べ参加者数:137人 主な講習内容:野菜等の栽培管理、農業機械の実技講習など								決算額	
								59千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
女性が積極的に農作業に取り組み、農業を理解しようと毎年多くの女性が参加している。講義内容がマンネリ化しないよう参加者の意見を取り入れながら行っていきたい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
若い女性の受講者が増加したため、就農講座の充実とともに若手女性就農者の育成に努めたい。								予算額	
								65千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[5] 高齢者の生きがいがいくつり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
高齢者学級(地区公民館)	生涯学習課	19館	30館	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座を実施するもの。									
平成24年度実績									
【高齢者学級】 実施公民館数:21館 実施回数:48回 高齢者参加数:1603人(うち、男702人 女841人)								決算額	
								96千円	
								実績値	
								21館	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
各種学級・講座は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
【高齢者学級】(予定) 実施公民館数:24館 実施回数:58回 延べ時間数:143時間								予算額	
								135千円	
								目標値	
								24館	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	1. 社会参画の推進
具体的施策	[6] 高齢者や障害者にやさしいまちづくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	—	15館	①充実	●	②継続		③新規	
事業の概要									
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として平成24年度までに2館増を目標とするもの。									
平成24年度実績									
障害者用トイレ設置のための現地調査を実施したが、多額の財源を必要とするため事業を実施する事ができなかった。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								—	
								進捗状況	
								1	
事業に対する評価・課題等									
障害者用トイレ設置済みの公民館からは、暖房便座、ウォシュレット等の設置要望があり、今後未設置の公民館の設置と併せて協議していく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
障害者用トイレ設置のための現地調査を継続する。 設置予定公民館2館の決定。工事用の積算。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[1] 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストで把握する。 把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。 事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。								
平成24年度実績								
○基本チェックリスト実施者……3,999人 ○二次予防事業対象者……722人 ○通所型介護予防事業利用者 ・運動器の機能向上プログラム参加者……実人員134人 ・栄養改善プログラム参加者……実人員4人 ・口腔機能の向上プログラム参加者……実人員20人 ○訪問型介護予防事業利用者……実人員0人							決算額	
							11,900千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
○健診機関など各関係機関との連携により、広く基本チェックリストの実施が図れてきている。 ○広報、リーフレット配布等により啓発活動を行い、広く周知されてきた。 ○二次予防事業利用者に、運動器の機能向上プログラム等を実施し効果があらわれている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
○二次予防事業対象者……見込み700人 ○通所型介護予防事業利用者……最大利用見込み実人員147人 宇和島会場1セット24回:計6セット、三間・吉田・津島会場1セット13回:計各会場2セット ○訪問型介護予防事業利用者……実人員1人							予算額	
							13,385千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[1] 介護予防事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課							
事業の概要								
地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。 健康教育や健康相談等を通じて、介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行う。								
平成24年度実績								
◎介護予防普及啓発事業 ○各種講座……358回・7,274人(うち介護予防講座……40回・582人) ○相談会……4回・49人、健康相談(保険健康課)……230回・1,739人 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド及び情報」発行……35,700部配布 ○認知症フォーラム 1回・101人 ◎地域介護予防活動支援事業 ○ボランティア講座等……39回・416人、ボランティアスキルアップ研修……1回・22人 ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回・189人 ○高齢者元気づくり推進事業……2,608件 ○ミニサークル支援活動……20回・262人 ○ふれあいいきいきサロン……52回・823人 ○自主グループ支援……7回・86人								決算額
								9,317千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○介護予防普及啓発事業 ・広報、パンフレット配布、保険健康課や公民館事業と連携した普及・啓発が図れた。 ・シニア元気づくり体操普及事業・通所型介護予防事後事業を実施し、介護予防活動が市民に浸透してきている。 ○地域介護予防活動支援事業 ・シニア元気づくりサポーター育成事業や介護予防ボランティア養成講座の実施により、介護予防活動への参加・ボランティア養成の基盤整備が図れた。 ・高齢者元気づくり推進事業等により、高齢者が身近に集う場としての高齢者サロンの拡充や介護予防の普及啓発が図れてきている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
○シニア元気づくり体操普及事業(シニアoh!げんき体操クラブ)……5会場各毎月1回 計60回(実人数160人) ○通所型介護予防事後事業……12回(実人数15人) ○高齢者元気づくり推進事業……高齢者サロンの拡充(173か所→180か所) ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回(実人数12人) ○介護予防講座……33回 ○健康相談(保険健康課)……220回、健康教育……230回 ○ボランティア講座等……25回 ○ボランティアスキルアップ研修会参加……1回 ○地域活動組織への講師派遣……70回 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド」発行……35,700部配布								予算額
								9,921千円
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、要介護状態となることを予防する為、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。									
平成24年度実績									
介護予防ケアプラン作成数:134件 介護予防ケアプランの評価数:131件								決算額	
								195千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
○個別性を重視し自立支援を目指した適切な介護予防ケアプランの作成や、計画を定期的に評価し見直しを行うことで、改善に向けた支援ができた。 ○二次予防事業の通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業と連携して実施する事ができた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
介護予防ケアプラン作成見込数:140件								予算額	
								321千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。 高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。								
平成24年度実績								
◎総合相談事業 ○総合相談延べ件数……4,672件 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待通報件数……26件(内、虐待と認定した件数……15件) ○成年後見制度に係る相談件数延べ件数……241件(実人数50人、申立て件数4件)							決算額	
							5,564千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
事業に対する評価・課題等								
○個別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図っていくことができた。 ○協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるよう努めた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成25年度予定								
◎総合相談事業 ○初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 ○高齢者の実態把握のための個別訪問 ○高齢者地域見守りネットワークの運営 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待防止への取組 ○成年後見制度の活用 ○消費者被害の防止							予算額	
							5,859千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規	
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
①高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応する。 ②成年後見人制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見人制度の必要性や手続き等を説明し、申し立てにつなげる。 ③成年後見人制度が必要であるにも関わらず身寄りがないような人について、市長申し立てにつなげる事等の権利擁護に係る事業を行う。								
平成24年度実績								
○相談延べ件数……241件 ○申し立て支援……50件 ○申し立て件数……4件(うち市長申し立て件数 0件)							決算額	
							132千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
							4	
事業に対する評価・課題等								
成年後見人制度の利用に関する説明や助言を行い、申し立てにともなう支援を行った。又、成年後見人制度を広く普及させるための広報の利用、並びに地域の医療機関、権利擁護に関わる団体等との連携を図った。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成25年度予定								
○成年後見人制度利用支援事業見込人数……2名 ○市長申し立て見込件数……3件 ○制度普及のための研修会開催……2回 ○相談・制度説明・手続支援							予算額	
							739千円	
							目標値	
							—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[2] 地域包括支援センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	
事業の概要									
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導									
平成24年度実績									
地域ケアネットワーク会議を構成する部会を定期的に開催することで、地域ケアネットワーク会議の強化を図った。 ◎地域ケアネットワーク会議……3回 ・介護支援専門員部会……5回 ・介護サービス事業所部会……6回 ・認知症対策部会……6回 ・地域見守り部会……2回 ・権利擁護部会……2回 ・介護予防部会……7回 ・主任介護支援専門員会議……3回 ・ケアマネ支援…432件/年、サービス担当者会議への参加…20回/年、合計452件								決算額	
								563千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
市内39か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員106名からの相談は、年々支援困難事例が増加しているため、部会を定期的に開催し関係機関との繋がりを強化することで、個別の事例に対応できるネットワーク構築に力を入れている。今後は、独居高齢者の見守り、虐待、認知症等多様化する問題に対応できる様、地域ケアネットワーク会議及び部会の充実を図り、運営協議会との繋がりを強めていく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
◎介護支援専門員に対する個別支援 ①支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) ②サービス担当者会議の開催支援 ③ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催 ◎包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 ①「地域ケアネットワーク会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり								予算額	
								952千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	3 高齢者や障害者がいきいきと生活できる条件整備
施策の方向	2. 介護予防事業の充実
具体的施策	[3] 認知症高齢者への支援

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
介護予防一般高齢者施策事業 総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実		②継続	●	③新規	●
事業の概要									
「認知症になっても安心して暮らせる街・宇和島」を目指し、認知症高齢者を取り巻く問題の支援体制システムを構築する。 一次予防事業の中で認知症の予防を図り、総合相談・権利擁護事業で認知症の方の相談を行い、認知症の方がより安心して生活できるよう支援する。									
平成24年度実績									
宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、宇和島市として取り組む認知症対策について、検討する。 年9回開催。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為の協力者を確保するとともに、情報伝達のしくみを宇和島市全体で取り組む。 認知症フォーラム1回開催(101名参加)、だんだんネット協力事業所34事業所追加。により、24年度末時点で協力事業所総数358事業所。 ○認知症学習会 ・認知症シンポジウム 215名参加 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年38回・1,159人 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の結成 年1回・33名参加,メイト登録者64名 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回、 ・認知症相談室……医師相談 年6回・12件								決算額	
								390千円	
								実績値	
								左記参照	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
○認知症に係る事例検証など、学習会及び研修会を通じて関係者を通じて、認知症が病気であることの理解者や支援できる認知症サポーターの養成が推進できた。 ○徘徊SOSネットワークの構築については、系統的な情報伝達のしくみについて、整備に一層の努力が必要と思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3	
平成25年度予定									
引き続き宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、認知症対策について、検討する。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為の協力者を確保し、情報伝達ルートの確立。 ○認知症医療・ケア研修会 ・認知症医療との連携……認知症情報提供書の活用推進及び内容改善 ○認知症学習会 ・認知症講演会の実施 年1回 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年35回 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 年2回 ・認知症家族のつどいへの協力 ・認知症相談室……医師相談 年6回								予算額	
								474千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—